

テスト型コンテンツ制作ツール

smart QUTE 3.1

ユーザーマニュアル

◆ 本文書について

本文書は、smart QUTE 3 の機能について解説したマニュアルです。

smart QUTE 3 クイックメニューについては「smart QUTE 3 クイックガイド」を、
smart QUTE 3 のインストールについては「smart QUTE 3 インストールガイド」
をご覧ください。

はじめに

学校や企業で行われている e ラーニングでは、学習や研修を全員がきちんと受講し、理解も十分であったことを先生や研修担当者が確認することが重要です。そのためにはテスト教材を活用することになりますが、それを独自に作成することは容易ではありません。

smart QUTE 3 はそのような方を支援するためのテスト教材制作ツールです。問題の内容や解答、解説等の情報を Microsoft Excel に入力するだけで、特別な知識を必要とせず簡単にテスト型 e ラーニングコンテンツを作成することができるようになっています。

smart QUTE 3 は、PC、Android、iPhone、iPad での受講をサポートしています。多くのプラットフォームで同一の機能の教材を受講できるとともに、画像の追加やテキスト強調等の多彩な表現機能により様々なシチュエーションに適したテストコンテンツを作成することが可能です。

あわせて今回のバージョンでは、テスト問題以外のページ・パーツの追加、ページ内に複数問題の設定等、より使いやすく、多くのニーズに対応するための機能が強化・追加されました。

また smart QUTE 3 は独自カスタマイズ性を備えており、ロゴの変更や追加機能など貴社・貴校専用デザインのご要望に対応いたします。

この smart QUTE 3 が、皆様のテスト型コンテンツ制作の効率化と学習効果向上の手助けとなりますことを願ってやみません。

SATT smart TOOL 開発チーム

2016 年 5 月 16 日

smart QUTE 3 とは？

- **e ラーニング用の テスト（クイズ）型コンテンツが作れる**

パソコン、タブレット、スマートフォンで受講できるテスト型コンテンツが作れます。



- **豊富な機能でさまざまなニーズに対応した教材が作れる**

たとえば、問題に解答して最後に判定を行うテスト、講義とクイズを繰り返し表示する演習、結果を表示しない試験など目的にあわせてテストの形式を選べます。

また、ドラッグ&ドロップ問題、問題のシャッフルなど e ラーニングならではの教材と、テキスト・画像・問題を自由に配置する紙のテストのような教材を作成できます。



問題ページ
ドラッグ&ドロップ問題



結果・一覧ページ



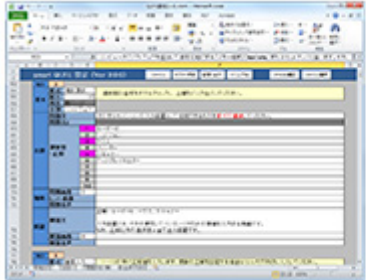
自由表示テキストと複数問題を
組み合わせた大問小問の例

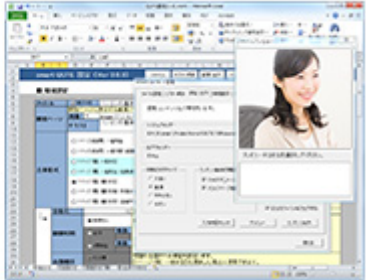
- **Excel で教材が作れる、簡単な作成方法**

コンテンツの作成は、Excel のセルに問題文や選択肢などを入力して行います。

使い慣れた Excel で簡単にテスト型コンテンツを作成できます。

設定用 Excel シート





smart QUTE 3 の新機能

バージョン 3 で追加された主な機能について説明します。

- ・ **デバイス共通テンプレート**

従来の PC 版／スマートフォン対応版の区分けが無くなり全ての環境で同じテンプレートが表示されるようになりました。これにより、環境に関わらずほぼ同じ機能とデザインで受講ができるようになりました。

- ・ **コース全体形式の追加**

「1 ページに複数の問題を設定」できる形式、「判定／正解すると次へ進める」形式のコンテンツが作成できるようになりました。

- ・ **問題以外のページ・パーツ（自由表示）の追加**

問題の設問・選択肢・解説等の枠にとらわれない画像、テキストを設定できるようになりました。これにより「長文を表示して、それに対する問題を複数問出題」したり、「講義 → テスト → 解説」のようにページを構成する事ができます。

- ・ **問題形式の追加**

従来の「択一、複数選択、入力」問題に加え、新たに「正誤、直接入力、ドラッグアンドドロップ、並び替え」問題が設定可能になりました。

- ・ **スワイプによるページ移動、ページ移動アニメーション**

スワイプでページが移動できるようになりました。特にモバイル環境での操作性が向上しています。従来どおりボタンによるページ移動ではスワイプと同様のスライドアニメーションでページを移動します。

- ・ **画像の表示サイズ設定**

問題に表示する画像、動画のサイズを制作時に設定できるようになりました。

- ・ **「再受講」機能**

全問判定実施後、コースを終了することなく再度受講することができるようになりました。

- ・ **前回の解答内容・結果の表示**

全問判定を行ったコースを再度受講する場合に、前回の解答内容・判定結果を表示できるようになりました。

- ・ **インストーラー機能付きクイックメニューを追加**

バージョン 3.1.2 より、導入の自動化と制作方法の修得を容易にするクイックメニューを追加しました。クイックメニューは自動でアップデートされ、制作環境を最新に保つ事ができます。

目次

はじめに	1
smart QUTE 3 とは？	2
smart QUTE 3 の新機能.....	3
目次	4
受講環境	7
制作環境	7
動作確認済み LMS	8
クイックメニュー	9
smart QUTE 3 コンテンツ機能詳細	10
smart QUTE 3 で制作できるコンテンツの全体形式.....	10
コンテンツを構成する領域.....	11
ページの種類.....	11
開始ページ.....	12
問題／講義ページ	13
全体形式の違いによる問題・自由表示セクションの表示ルール図解.....	14
問題セクション、各部の名称と機能	15
ヒント画像.....	17
問題ビデオ.....	18
問題形式.....	19
択一問題.....	19
正誤問題.....	19
複数選択問題.....	20
入力問題.....	20
直接入力問題.....	21
ドラッグアンドドロップ問題.....	21
並び替え問題.....	22
一覧ページ、結果表示.....	23
終了ページ、一覧付終了ページ	26
一覧ページ、終了ページ表示の流れ.....	27
機能メニュー	28
コントロールエリア	29
テンプレート情報	30
音声コントロール	31
画面レイアウト	32
レイアウトの基本事項	32

画像・動画表示	32
スマートフォン特殊レイアウト	33
1 ページ複数問 2 列レイアウト	33
ボタンサイズの動的変化	33
通知・問い合わせダイアログ	34
その他の機能	35
画像の先読みダウンロード	35
動画・音声の自動再生	36
エラー表示	36
ページ移動	37
終了ボタンの非表示	37
全体形式ごと機能一覧表	38
smart QUTE 3 コンテンツ制作（設定用 Excel シート）	39
ワークシートフォーマット	40
環境設定シート	40
カテゴリー設定	42
ハイパーリンク設定	42
問題設定シート	43
問題設定（横）シート	45
自由表示設定シート	45
問題形式ごとの設定方法	47
択一問題	47
正誤問題	47
複数選択問題	47
入力問題	48
直接入力問題	48
ドラッグアンドドロップ問題	49
並び替え問題	50
機能ボタン	51
smart QUTE 3 設定ダイアログ	52
「ファイル設定」機能	52
「リスト・点数」機能	53
「設定・出力」機能	56
「情報表示」機能	58
「マニュアル」機能	58
「ファイルプレビュー」ダイアログ	59
smart QUTE 3 を使いこなす	60
画像、動画、音声外部ファイルを設定する	60

使用可能な外部ファイル	60
設定可能場所、設定可能サイズ	60
画像・動画表示サイズ	61
ハイパーリンクを設定する	62
セルの書式設定を使用した文字修飾	64
「セルの書式設定を使用した文字修飾」の出力パフォーマンスダウンを回避する	65
HTML タグの使用	66
設定項目ごとの文字修飾使用の可否	68
カテゴリーと出題数の設定	69
制限時間の設定	71
学習管理システムでの使用	72
資料	74
smart QUTE 3 仕様	74
学習履歴の管理（SCORM 仕様）	75
smart QUTE バージョン別機能等比較	76
Excel のマクロセキュリティレベルの設定	79
Excel の Active X の設定	79
連絡先	80
改訂履歴	81

受講環境

Windows 8.1	Internet Explorer 11
Windows 10	Internet Explorer 11 / Edge Google Chrome Mozilla Firefox
Mac OS X	Safari
iPhone iOS 8～14	Safari ※ (「デスクトップ用 Web サイトを表示」は動作対象外です)
iPad iOS 8～12 iPadOS 13～14	Safari ※ (「デスクトップ用 Web サイトを表示」は動作対象外です)
Android 4～11	Google Chrome ※

※ 2020 年 11 月 25 日時点の最新版で動作確認をしています。

最新の対応端末情報については Web サイト上の「動作確認済みの機種一覧」をご参照ください。

<https://satt.jp/product/support/mobile-device-list.htm>

制作環境

- ・ 受講環境要件を満たす Windows の web ブラウザー
- ・ Microsoft Excel 2013 / 2016 / 2019

※ Microsoft Office 製品は、PC にインストールするアプリケーション 32 ビット版、または 64 ビット版で作成可能。Online 版の Office では作成できません。

※ PC のハードウェアスペックは上記の OS、Microsoft Office 製品の使用中にメモリスワップや遅延等が発生しないで動作する環境が必要です。

また、大きなサイズのビデオファイルや大量の画像を扱う場合は特にディスク書き込み・読み込みに問題のない速度のストレージ、ビデオ再生をスムーズに行うために余裕のある CPU 速度およびメモリ容量が必要になります。

OS に常駐動作している他のプログラム等によってもハードウェアの条件は異なるため具体的なパーツごとの数値を示すことはできません。購入される前に体験版のインストールとコンテンツ作成・出力を実施して問題がないかをご確認ください。

動作確認済み LMS

- ・ [smart FORCE](#) (ver 2.0.0 以上を推奨)
- ・ [e ラーニングシステム 学び〜と](#)

その他 LMS の搭載要件

- ・ 表示ウィンドウ幅 240px 以上 (320px 以上を推奨)
- ・ iOS、Android での受講では smart QUTE 3 を直接ブラウザーに表示するか、インラインフレーム等に読み込む場合は表示ウィンドウに以下の指定がされていること
<meta name="viewport" content="width=device-width">

クイックメニュー

smart QUTE 3 インストール後に表示されるアプリケーションです。

クイックガイド、サンプルコンテンツ、新規作成用 Excel シートのコピー等 smart QUTE 3 の教材制作と、それを理解するための機能が用意されています。

クイックメニューについての一般的機能は「クイックガイド」をご覧ください。



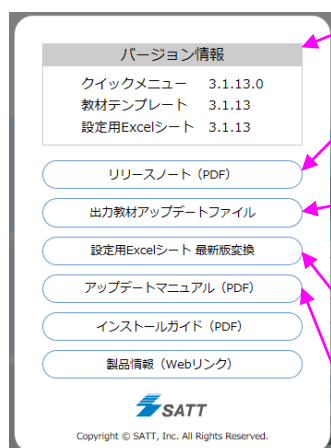
smart QUTE 3 クイックメニュー

アップデート機能

インターネットに接続できる環境では、クイックメニューは起動時に更新バージョンの確認しアップデートを行います。アップデートを行うとコンテンツテンプレート、設定用 Excel シート等が最新のバージョンに更新されます。

(クイックメニューの更新については「インストールガイド」をご覧ください。)

出力済みの教材にアップデートを適応するには、クイックメニューの機能を使用します。クイックメニュー右上「バージョン情報」ボタンを押してダイアログを表示してください。



「クイックメニュー」
バージョン情報ダイアログ

- ・バージョン情報
インストールされているバージョン番号が表示されます。
- ・リリースノート
アップデートの履歴を確認できる書類を表示します。
- ・出力教材アップデートファイル
出力済みのコンテンツを最新バージョンにするためのファイルを取得します。
- ・設定用 Excel シート 最新版変換
編集中的設定用 Excel シートを最新のバージョンに変換します。
- ・アップデートマニュアル
出力済み教材、設定用 Excel シートのアップデート方法の説明が書かれた書類を表示します。

smart QUTE 3 コンテンツ機能詳細

smart QUTE 3 は特別なレクチャーを受けなくても受講できるようにデザインされており、通常は各部の名称等について意識する必要はありません。

こちらは教材制作のための機能確認と、何らかの理由でお問い合わせを行う際の指定用語としてお読みください。

smart QUTE 3 で制作できるコンテンツの全体形式

- **1 ページ 1 問、一括判定**

1 ページに 1 問の問題を表示します。

この形式の特徴は出題順のシャッフル、全体の時間制限、カテゴリごとの出題数設定、ドラッグアンドドロップ問題等の e ラーニングコンテンツならではの機能をフルに使用できることです。

- **1 ページ 1 問、一括判定（結果表示なし）**

判定後、受講者に結果を表示しません。主に試験目的で使用します。

- **1 ページ 1 問、個別判定**

1 ページに 1 問の問題を表示し、問題解答後にそのまま判定ができる形式です。

この形式では任意のテキスト・画像を設定したページを挿入することができます。

講義とテスト問題が交互に表示されるようなコンテンツを制作できます。

- **1 ページ 1 問、個別判定（判定すると進める）**

判定すると次のページに進めるコンテンツです。

この形式のみ、問題ごとに制限時間を設定する事ができます。

- **1 ページ 1 問、個別判定（正解すると進める）**

正解すると次のページに進めるコンテンツです。

- **1 ページ複数問、一括判定**

ページ内にテスト問題、テキスト、画像を任意に表示できる形式です。

1 ページに複数の問題を設定できるので、文字数の少ない問題を多く出題する場合や、任意テキストを組み合わせで大問・小問のような表示を設定することが可能です。

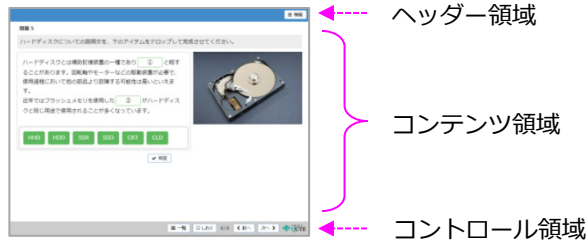
- **1 ページ複数問、一括判定（結果表示なし）**

判定後、受講者に結果を表示しません。主に試験目的で使用します。

形式ごとに使用できる機能については「[全体形式ごと機能一覧表](#)」をご覧ください。

コンテンツを構成する領域

smart QUTE 3 コンテンツは大きく 3 つの領域で構成されています。



ページの種類

smart QUTE 3 コンテンツは、受講状況により次の種類のページが表示されます。

開始ページ



コンテンツ開始時に表示されるページです。

問題・講義ページ



テスト問題、自由表示の画像・テキストを表示します。

一覧ページ



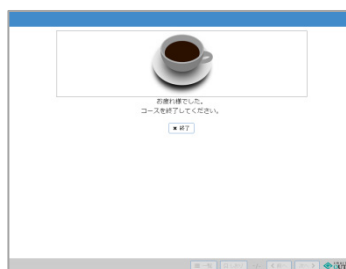
テスト問題の解答・判定状態等を一覧表示するページです。

一覧ページ (結果表示)



一覧ページに、判定結果が表示された状態です。

終了ページ



結果を表示しない場合、判定後に表示するページです。

開始ページ

コンテンツ開始時に表示されるページです。



- 「終了」ボタン
コンテンツを終了します。
- コースタイトル
コースタイトルを表示します。設定により非表示にする事ができます。
開始ページ画像にタイトルが表示されているような場合は非表示にしてください。
- 開始ページ画像、開始ページテキスト
開始ページに設定する任意の画像・テキストです。
- システムガイダンス
コンテンツの設定状態によって、自動で表示される情報テキストです。
表示される内容は次のとおりです。

ページ移動条件		本コースは問題に解答すると次へ進めます。
		本コースは問題に正解すると次へ進めます。
時間制限	一括判定	解答制限時間は〇〇分〇〇秒です。
	個別判定	解答制限時間は〇〇分〇〇秒、残り時間は〇〇分〇〇秒です。
使用メディアファイル		時間制限あり、各問〇〇分〇〇秒以内に解答してください。
		本コースにはビデオが使用されます。
		本コースには音声を使用されます。
受講制限／受講完了		本コースにはビデオ・音声を使用されます。
		受講できる回数は、残り〇〇回です。
		本コースは繰り返し受講できます。
		本コースは受講済みです。

- 「開始」等ボタン
「開始」等ボタンには次の種類があります。

開始	コンテンツの初回実施時に表示されます。
再開	LMS 搭載時、前回コンテンツが中断されたときに表示されます。
前回の解答を表示	LMS 搭載時、前回の起動で全問判定が行われたときに表示されます。
再実施	LMS 搭載時、前回の起動で全問判定が行われたときに表示されます。

問題／講義ページ

テスト問題、任意に追加できるテキスト・画像（「自由表示」と呼称します）を表示するページです。

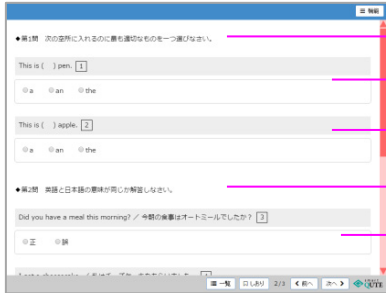
テスト問題、自由表示の各表示を「セクション」と呼称します。

全体形式「1 ページ 1 問」の問題ページ



問題セクション

全体形式「1 ページ複数問」の問題・講義が混在したページ



自由表示セクション

問題セクション

問題セクション

自由表示セクション

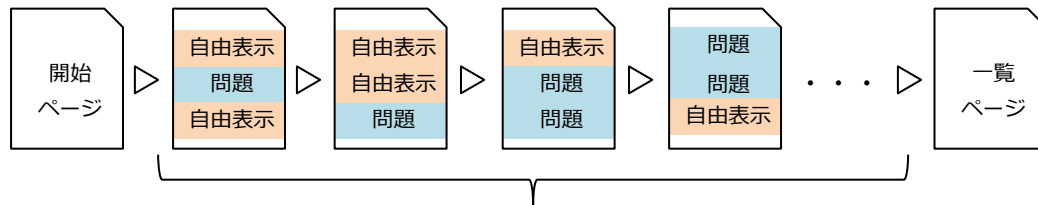
問題セクション

問題・自由表示セクションは全体形式の設定により、設定できる順序、1 ページに表示できる組み合わせが異なります。

- 1 ページ複数問
ページ内に、問題・自由表示を任意の数・順番で設定する事ができます。
- 1 ページ 1 問、一括判定
問題を 1 ページに 1 問表示します。自由表示を問題と同じページに表示できません。
自由表示をページ内に任意の数・順番で設定する事ができます。
自由表示、問題の順番でページが構成されます。
- 1 ページ 1 問、個別判定
問題を 1 ページに 1 問表示します。自由表示を問題と同じページに表示できません。
自由表示をページ内に任意の数・順番で設定する事ができます。
任意の順番でページを設定することができます。

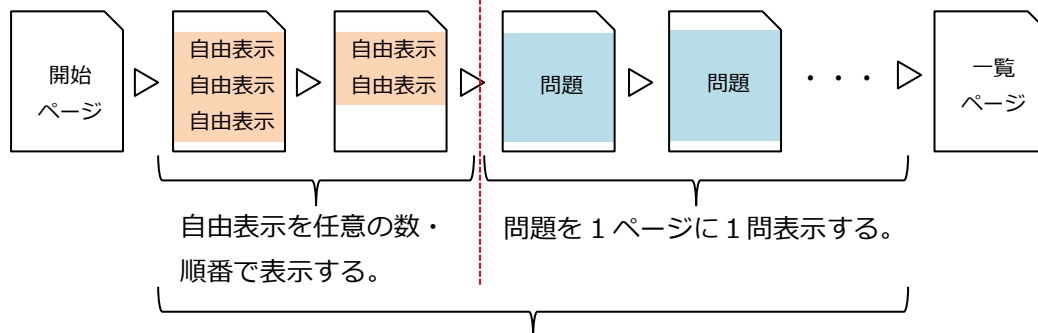
全体形式の違いによる問題・自由表示セクションの表示ルール図解

1 ページ複数問



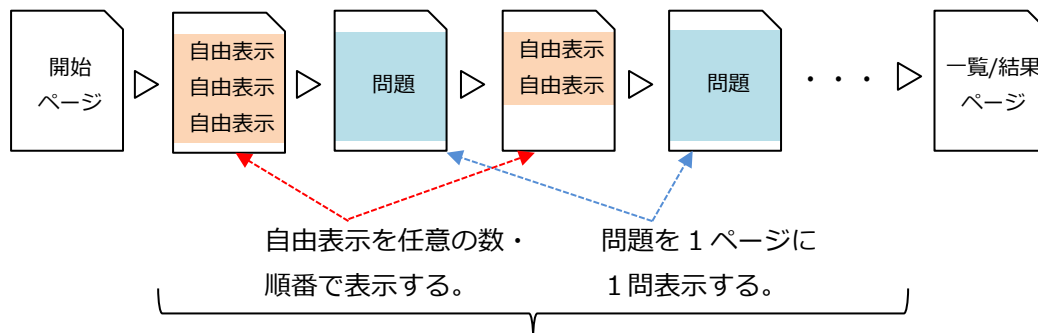
ページ内に、問題・自由表示を任意の数・順番で設定することができます。

1 ページ 1 問、一括判定



自由表示、問題の順番でページが構成されます。

1 ページ 1 問、個別判定



問題、自由表示ページを任意の順番で表示できます。

問題セクション、各部の名称と機能

判定前

問題番号 残り時間 設問

「機能」ボタン

問題番号
はどれか、選択してください。 1
(1ページ複数問の問題セクション)

「ヒント画像」ボタン

問題画像
(問題ビデオ)

解答エリア

「判定」ボタン

音声コントロール

コントロールエリア

判定後

正誤マーク

問題音声再生/停止ボタン

解説エリア

解説音声再生/停止ボタン

解説画像

解説文

- 問題番号

問題の表示連番です。

クリックにより「しおり」を設定する事ができます。

全体形式「1 ページ 1 問」「1 ページ複数問」で表示方法が異なります。

- 残り時間

制限時間（全体／1 問単位）が設定されている場合、残り時間を表示します。

- 機能ボタン

コンテンツの表示・動作についての設定を行う「[機能メニュー](#)」を表示します。

開始ページではこのボタンは表示されず、同位置に「終了」ボタンが表示されます。
終了ページではこのボタンは表示されません。

- 設問

設定用 Excel シート「問題文」に設定した内容が表示されます。

- 「ヒント画像」ボタン

ヒント画像が設定されている場合に表示されるボタンです。
クリックすると[ヒント画像](#)を表示します。

- 解答エリア

問題に解答する領域です。
詳しくは[問題形式](#)をご覧ください。

- 問題画像（問題ビデオ）

設定用 Excel シート「問題画像」に設定したファイルを表示します。
静止画、動画が設定可能です。

- 「判定」ボタン

設定用 Excel シート「全体形式」で「個別判定」を設定した場合に表示されます。
ボタンクリック後は次のように動作します。

個別判定	ボタンは非表示になる
個別判定（判定すると進める）	ボタンは非表示になる
個別判定（正解すると進める）	正解の場合：ボタンは非表示になる 不正解の場合：「再実施」ボタンに変化する 「再実施」ボタンを押すと、問題は初期化される

- 音声コントロール

問題音声、解説音声をコントロールします。
詳しくは[音声コントロール](#)をご覧ください。

- コントロールエリア

ページの移動、しおりの設定等を行います。
詳しくは[コントロールエリア](#)をご覧ください。

- 正誤マーク

判定実施後、結果を「○／×」で表示します。
択一問題、並び替え問題等の問題全体で判定される形式では「解答エリア」の左上に、
入力問題、ドラッグアンドドロップ問題等の枠個別で判定されるものは各枠の右上に
マークが表示されます。

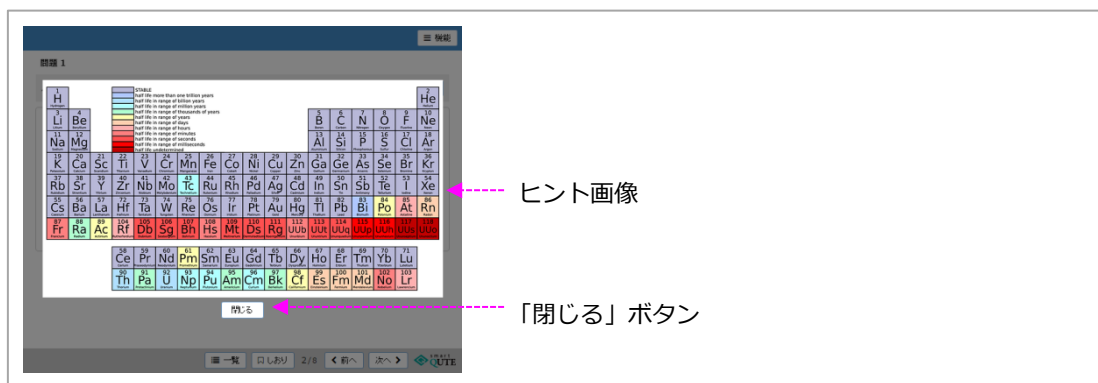
- 問題音声再生／停止ボタン
判定実施後、問題音声の設定されている場合に表示されます。
ボタンは、音声コントロールの「再生／停止」ボタンと連動しています。
- 解説エリア
判定実施後、解説文、解説画像、解説音声のいずれかが設定されている場合に表示される解説領域です。
- 解説音声再生／停止ボタン
解説音声の設定されている場合に表示されます。
ボタンは、音声コントロールの「再生／停止」ボタンと連動しています。
- 解説文
解説文の設定されている場合に表示されます。
- 解説画像
解説画像の設定されている場合に表示されます。
問題画像とは違い、ここに動画を設定することはできません。

ヒント画像

設定用 Excel シート「ヒント画像」に設定したファイルを表示します。

「ヒント画像」ボタンのクリックで画面全域に表示します。

表示の終了は「閉じる」ボタン、またはヒント画像以外の領域をクリックします。



問題ビデオ

問題画像に設定した動画ファイルを「問題ビデオ」と呼称します。

問題ビデオの再生・停止等のコントロールはブラウザのネイティブコントロールが使用され、その表示・機能等はブラウザによって異なります。



Internet Explorer 11 での表示



Chrome 76 での表示

問題形式

smart QUTE 3 で設定できる問題形式は以下の 7 種類です。

択一問題

- パーソンスコンピュータ
- パーソナルコンピュータ
- プログレッシブコンピュータ
- プリンタブルコンピュータ
- ポータブルコンピュータ
- ポインティングコンピュータ

1 ～ 10 個の選択肢を設定し、受講者は 1 つの選択肢を選び判定します。

他の選択肢を選ぶと先に選択した選択肢は解除され 1 つが選択される状態になります。

正解条件 : 正解に設定された選択肢を選択し判定を行った場合

不正解条件 : 正解に設定された以外の選択肢を選択し判定を行った場合
 選択肢を選択せず判定を行った場合

特記 : 全体形式「1 ページ複数問」では、選択肢を横に並べる事ができます。

正誤問題

- 正
- 誤

正／誤、どちらかの選択肢を 1 つ選び判定します。

他の選択肢を選ぶと先に選択した選択肢は解除され 1 つが選択される状態になります。

正解条件 : 正解に設定された選択肢を選択し判定を行った場合

不正解条件 : 正解に設定された以外の選択肢を選択し判定を行った場合
 選択肢を選択せず判定を行った場合

特記 : 全体形式「1 ページ複数問」では、選択肢を横に並べる事ができます。

複数選択問題

- ☒ キーボード
- ☐ ヘッドフォン
- ☒ マウス
- ☐ プリンター
- ☐ スキャナー
- ☐ ディスプレイモニター

1～10個の選択肢を設定し、受講者は1～10個の選択肢を選び判定します。

選択中の選択肢を再度選択すると非選択の状態になります。

正解条件：正解に設定された選択肢のみ全てを選択して判定を行った場合

不正解条件：正解に設定された選択肢を選択せずに判定を行った場合

正解に設定された以外の選択肢を選択して判定を行った場合

特記：全体形式「1ページ複数問」では、選択肢を横に並べる事ができます。

入力問題

1.
2.

1～10個の入力枠を設定し、受講者は入力枠に文字を入力し判定します。

入力枠は問題文の下に番号付きで表示されます。

正解条件：

各枠において、正解に設定された文字と同じ文字を入力して判定を行った場合

不正解条件：

各枠において、正解に設定された文字と違う文字を入力し判定を行った場合

各枠において、文字を入力せずに判定を行った場合

特記：正解に設定された文字、入力文字は、[大文字/小文字]、[全角/半角]を区別せず同じ文字とみなします。

直接入力問題

コンピュータにソフトウェアを追加して使用可能にすることを一般的に
、またはセットアップと言います。それとは逆にコンピ
 ューターからソフトウェアを削除することを と言いま
 す。

文中に 1 ～10 個の入力枠を設定し、受講者は入力枠に文字を入力し判定します。
 入力枠はテキスト中の任意の場所に設定できます。

正解条件：

各枠において、正解に設定された文字と同じ文字を入力して判定を行った場合

不正解条件：

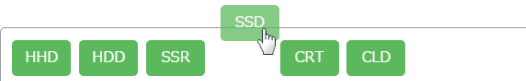
各枠において、正解に設定された文字と違う文字を入力し判定を行った場合

各枠において、文字を入力せずに判定を行った場合

特記：正解に設定された文字、入力文字は、[大文字／小文字]、[全角／半角] を
 区別せず同じ文字とみなします。

ドラッグアンドドロップ問題

ハードディスクとは補助記憶装置の一種であり と略することがあ
 ります。回転軸やモーターなどの駆動装置が必要で、使用過程において他の
 部品より故障する可能性は高いといえます。
 近年ではフラッシュメモリを使用した がハードディスクと同じ用
 途で使われることが多くなっています。



文中に 1 ～10 個のドロップ枠、1 ～10 個のドラッグアイテムを設定し、受講者はド
 ラッグアイテムをドロップ枠に移動して判定します。

ドロップ枠はテキスト中の任意の場所に設定します。

正解条件：

各枠において、正解に設定されたアイテムを移動して判定を行った場合

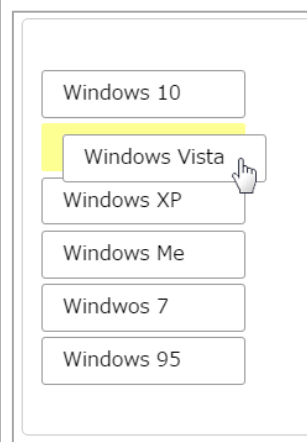
不正解条件：

各枠において、正解に設定されたアイテム以外を移動して判定を行った場合

各枠において、アイテムを移動せずに判定を行った場合

特記：全体形式「1 ページ複数問」では、この問題形式は使用できません。

並び替え問題



2～10 個の並び替えアイテムを設定し、受講者はアイテムの順序を並び替えて判定します。

正解条件 : 正解に設定された並び順で判定を行った場合

不正解条件 : 正解に設定された並び順以外で判定を行った場合

特記 : 全体形式「1 ページ複数問」では、この問題形式は使用できません。

一覧ページ、結果表示

テスト問題の解答・判定状態、問題の設問プレビュー等を一覧で確認できるページです。
全問判定後は、判定結果、得点、レーダーチャート、合格／不合格テキストを表示します。

一覧ページ

全問判定テキスト
「全問判定」ボタン
「問題一覧表示切り替え」ボタン
問題一覧（詳細表示）
問題一覧（状態表示）

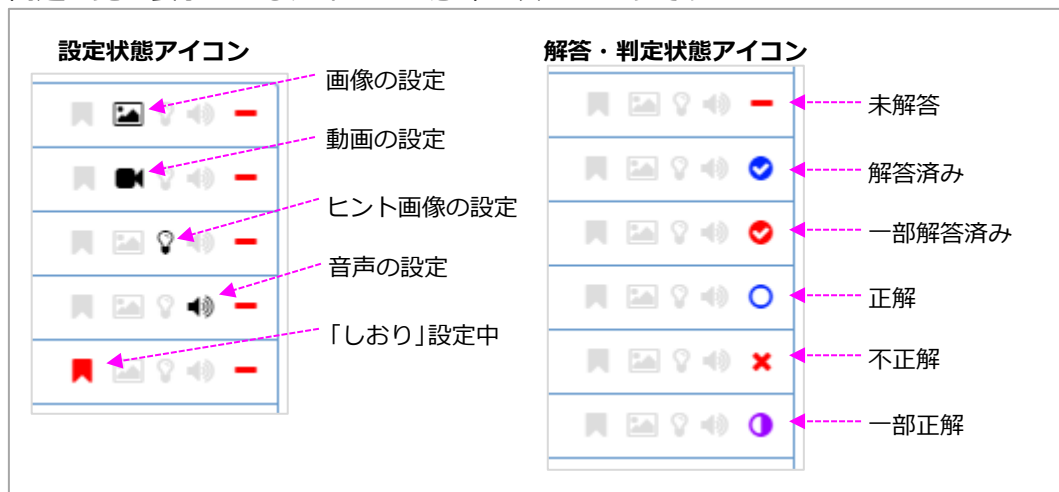
一覧ページ（結果表示）

合格／不合格表示
得点／最大可能点数表示
合否結果メッセージ
結果表示エリア
カテゴリレーダーチャート
「再実施」ボタン
「設定・状態」アイコン

- 全問判定テキスト
「全問判定」ボタンのクリックを喚起する固定テキストです。
全問判定後は非表示になります。
- 「全問判定」ボタン
クリックで全問判定を行います。
全問判定後は非表示になります。
- 「問題一覧表示切り替え」ボタン
クリックで問題一覧の「詳細表示／状態表示」を切り替えます。
- 問題一覧（詳細表示）
全ての問題を一覧で表示します。
問題の行をクリックすると、該当のページに移動します。
問題番号、問題文プレビュー、しおり設定状態、画像等設定状態、解答・判定状態を表示します。
- 問題一覧（状態表示）
全ての問題を一覧で表示します。
問題番号、解答・判定状態を表示します。
- 結果表示エリア
全問判定後に表示されます。
判定情報を表示します。
- 合格／不合格表示
合否結果に応じ、合格または不合格が表示されます。
- 得点／最大可能点数表示
受講者の得点／取得可能な最大の点数を表示します。
- 合否結果メッセージ
全問判定後に任意のテキストを表示できる領域です。
合格／不合格に応じて異なるテキストを表示できます。
- カテゴリーレーダーチャート
カテゴリーが3種類以上存在する場合に表示します。
- 「再実施」ボタン
クリックでコンテンツを初期化し再度受講できるようになります。
受講回数制限を超過した場合は表示されません。

- 設定・状態アイコン

問題一覧に表示されるアイコンの意味は次のとおりです。



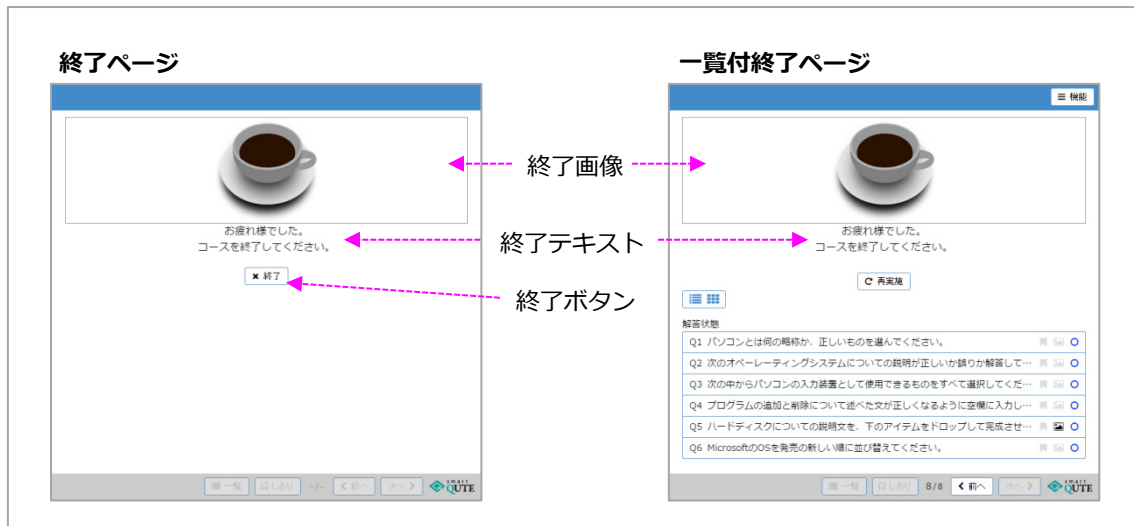
アイコンの表示条件等は次のとおりです。

アイコン	表示条件	濃く表示される条件
問題画像 ／問題ビデオ	コース中に1つ以上該当 ファイルが設定されてい る	該当のページにファイルが設定されて いる
ヒント画像		
問題音声		
しおり	必ず表示	該当の問題にユーザーが設定した
解答・判定状態	必ず表示	解答の状態、判定結果によって変化

終了ページ、一覧付終了ページ

終了ページは、全体形式で「結果表示なし」を選択した場合、判定後に表示されるページです。このページが表示されると「終了」以外の操作はできません。

一覧付終了ページは、全体形式で「正解すると進める」を選択した場合に、全問正解後に表示できるページです。

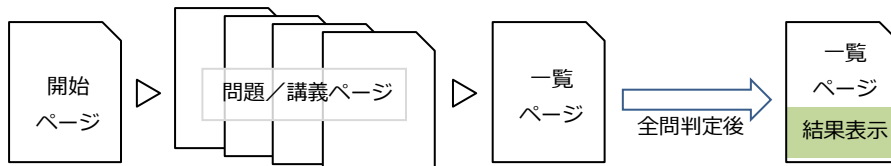


- 終了画像
設定用 Excel シート「終了表示 画像」を設定した場合に表示されます。
- 終了テキスト
設定用 Excel シート「終了表示 テキスト」を設定した場合に表示されます。
- 「終了」ボタン
クリックするとウィンドウを閉じ、コースを終了します。

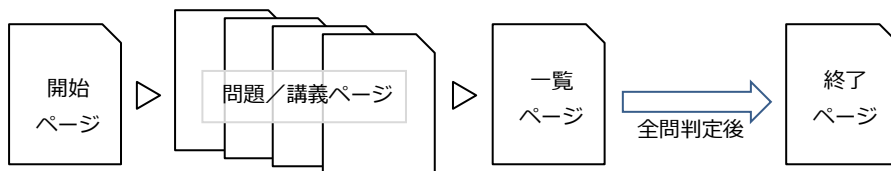
一覧ページ、終了ページ表示の流れ

一覧ページ、終了ページは、コースの全体形式によって表示ルールが異なります。

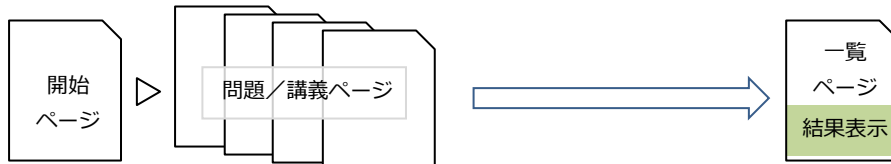
- ・ 1ページ複数問、一括判定
- ・ 1ページ 1 問、一括判定
- ・ 1ページ 1 問、個別判定



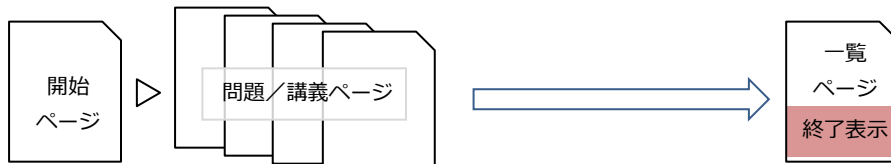
- ・ 1ページ複数問、一括判定（結果表示なし）
- ・ 1ページ 1 問、一括判定（結果表示なし）



- ・ 1ページ 1 問、個別判定（判定すると進める）

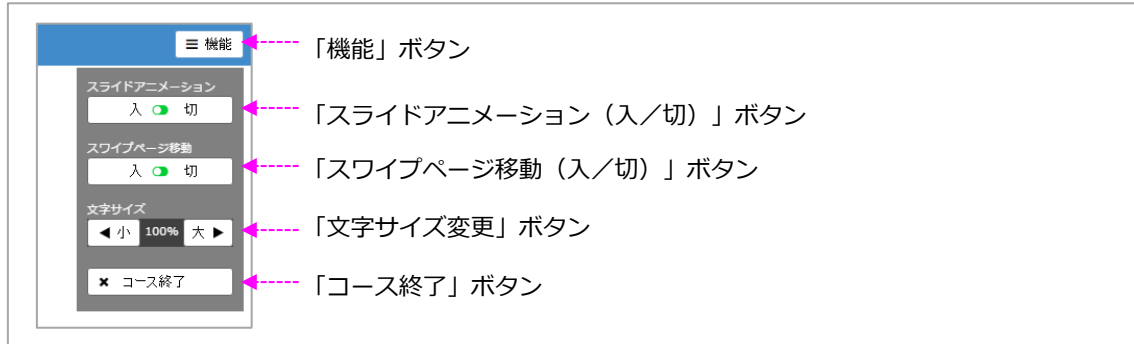


- ・ 1ページ 1 問、個別判定（正解すると進める）



機能メニュー

「機能」ボタンをクリックして表示するメニューです。



- 「スライドアニメーション（入／切）」ボタン
 ページ移動時のスライドアニメーション有効／無効を設定します。
 初期値はコンテンツ制作時に設定します。
- 「スワイプページ移動（入／切）」ボタン
 スワイプ操作によるページ移動の有効／無効を設定します。
 初期値はコンテンツ制作時に設定します。
- 「文字サイズ変更」ボタン
 コンテンツ内のテキストサイズを変更します。
 変更は5%単位で、最小75%、最大125%です。
 初期値はコンテンツ制作時に設定します。
- 「コース終了」ボタン
 クリックするとコンテンツウィンドウを閉じます。

コントロールエリア

コントロールの表示

設定中「しおり」ボタン

「一覧」ボタン 「しおり」ボタン ページ番号／総ページ数表示 「前へ」ボタン 「次へ」ボタン 「情報」ボタン

問題音声／解説音声の設定された場合の表示

音声コントロール

コンテンツの横幅がある程度広い状態では、音声コントロールはコントロールエリアに表示されます。

- 「一覧」ボタン
 クリックすると一覧ページに移動します。
 全体形式「判定すると進める」「正解すると進める」が設定されている場合は、一覧ページが表示されるまで使用できません。
- 「しおり」ボタン
 クリックすると「しおり」を設定します。
 「しおり」は問題に対して付けることができ、設定するとアイコンが変化します。
 「しおり」が設定された状態で再度クリックすることで「しおり」を解除できます。
 「しおり」を設定すると問題番号にもマークが表示されます。
- ページ番号／総ページ数表示
 現在ページとページ総数を表示します。
- 「前へ」ボタン
 クリックすると前のページに移動します。
 キーボードの「←」でも同じ動作をします。
- 「次へ」ボタン
 クリックすると次のページに移動します。
 キーボードの「→」でも同じ動作をします。

- 「情報」ボタン
テンプレート情報を表示します。

テンプレート情報

smart QUTE 3 テンプレートの情報等を表示します。

表示の終了は、ページリンク以外の任意の場所をクリックします。

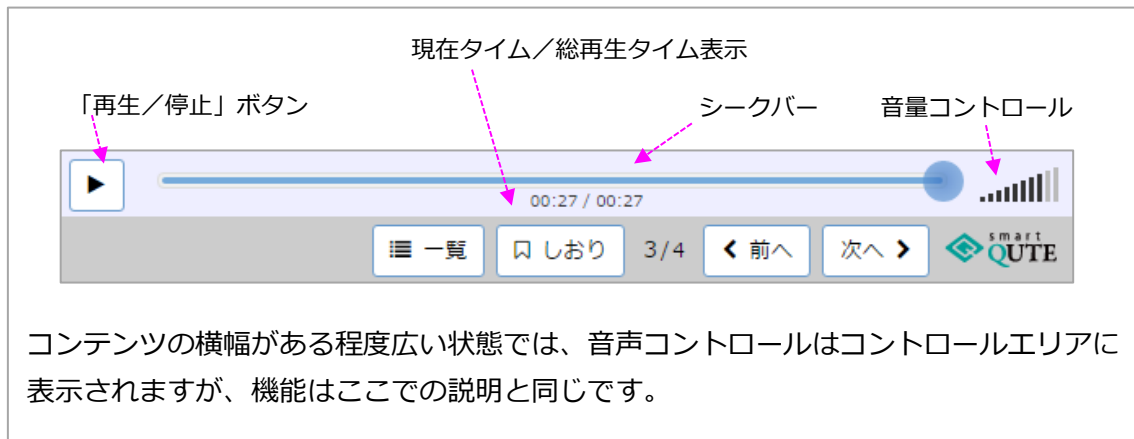


音声コントロール

問題音声、解説音声が設定されているページで表示される音声コントロールです。

問題音声と解説音声で共有しており、問題表示、解説エリアそれぞれの再生停止ボタンを押すことでコントロールとリンクします。

問題音声の設定が無く解説音声のみ設定されている場合は判定後に表示されます。



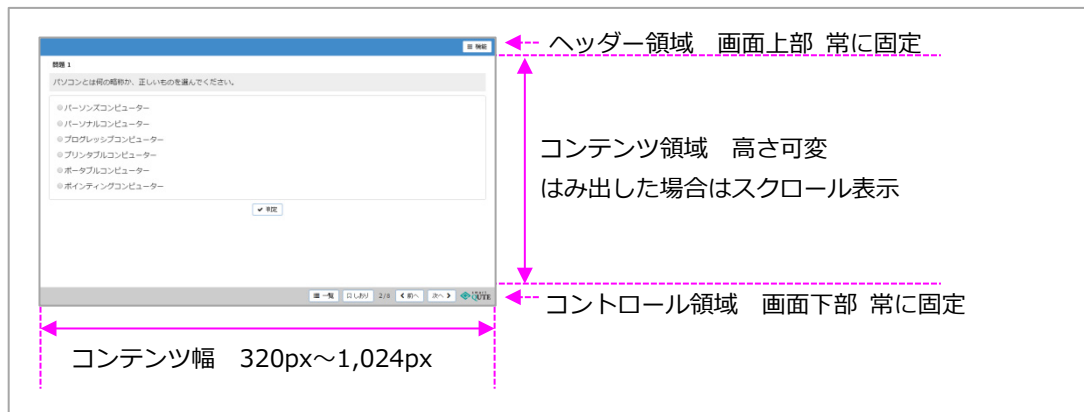
- 「再生／停止」ボタン
クリックして問題音声／解説音声の再生／停止を制御します。
- 現在タイム／総再生タイム表示
コントロールに関連付けられた音声の再生時間を表示します。
- シークバー
現在の再生位置を表示するとともに、ツマミをドラッグすることで再生位置を移動します。
- 音量コントロール
ドラッグで音量を制御します。
モバイル端末では表示されません。モバイル端末での音量の制御はハードウェアの機能を使用してください。

画面レイアウト

smart QUTE 3 は、表示するデバイス、画面サイズ等によって自動的にレイアウトを変更します。

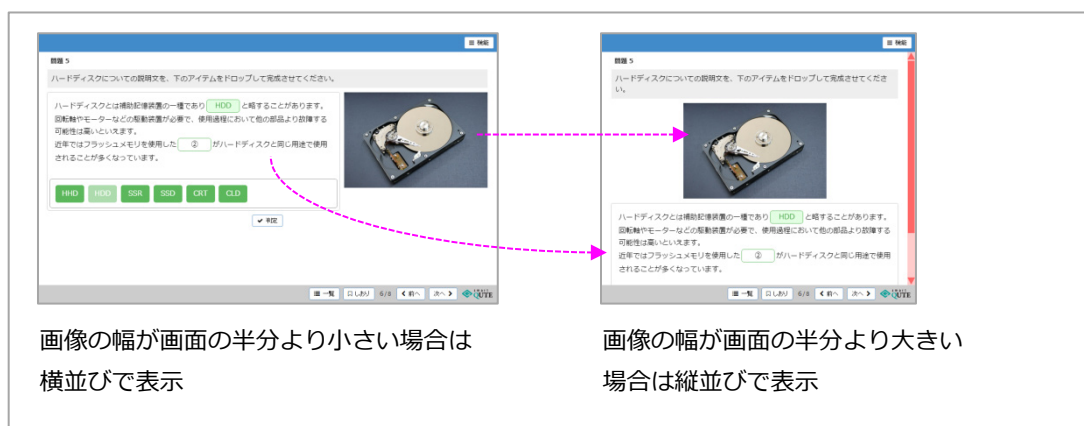
レイアウトの基本事項

- ・ ヘッダー、コントロールは画面の上下に常に固定表示
- ・ 画面の幅・高さは表示するウィンドウサイズにより可変
- ・ 表示幅は最大 1,024px、最小 320px



画像・動画表示

- ・ 問題画像（問題ビデオ）は、解答エリアの右側に表示
- ・ 画像サイズが画面に対してほぼ半分以上では縦並びにレイアウトされる
- ・ 解説画像も、問題画像と同様の表示となる

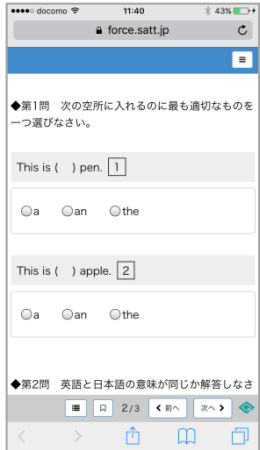


画像の表示サイズの違いによる表示については、「[画像、動画表示サイズ](#)」をご覧ください。

スマートフォン特殊レイアウト

- ・スマートフォン、ランドスケープ表示ではヘッダー、コントロールは表示しない

iPhone 6 ポートレイト表示



iPhone 6 ランドスケープ表示



ヘッダー、コントロールは表示しません。
ページ移動はスワイプで行い、ボタン機能を使用するときは縦表示にしてください。

ランドスケープにすると「スワイプページ移動」は設定に関わらず有効になります。

1 ページ複数問 2 列レイアウト

- ・全体形式「1 ページ複数問」では、ウィンドウ幅が 1,400px 以上になると 2 ページを左右に表示する




ボタンサイズの動的変化

- ・ウィンドウ幅に応じて、ヘッダー、コントロールのボタンサイズが調整される



451px 以上での表示



400px 以下での表示

通知・問い合わせダイアログ

ダイアログの種類	表示タイミング	動作
問い合わせ	一覧ページ 「全問判定」ボタン	全問判定の実行「はい／いいえ」を選択
	一覧ページ 「再実施」ボタン	再実施の実行「はい／いいえ」を選択
	機能メニュー 「コース終了」ボタン	コース終了「はい／いいえ」を選択
通知	制限時間「全体」の時間を 超過した時	確認「OK」をクリック

「問い合わせ」ダイアログ


 全問判定を実施しますか？

「通知」ダイアログ


 時間切れになりました。

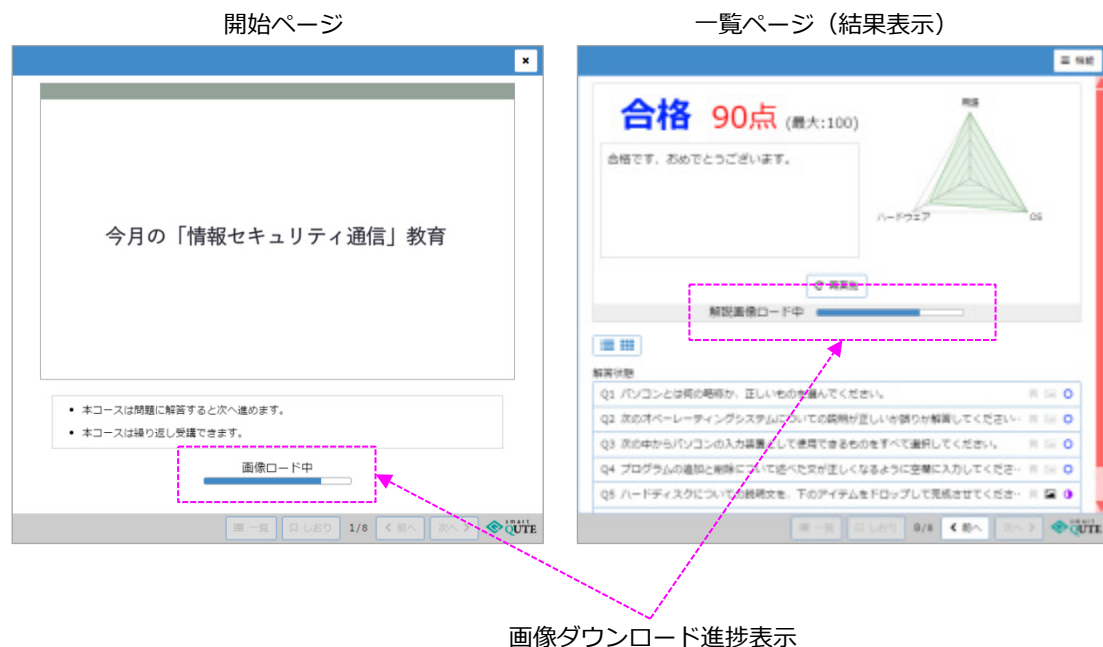
その他の機能

画像の先読みダウンロード

設定された画像は、下表のタイミングであらかじめダウンロードが行われます。

全体形式	問題・ヒント画像 自由表示で設定した画像	解説画像
1 ページ 1 問 一括判定	開始ページ	一覧ページ（結果表示）
1 ページ 1 問 一括判定 （結果表示なし）	開始ページ	-
1 ページ複数問 一括判定	開始ページ	一覧ページ（結果表示）
1 ページ複数問 一括判定 （結果表示なし）	開始ページ	-
1 ページ 1 問 個別判定	開始ページ	開始ページ
1 ページ 1 問 個別判定 （判定すると進める）	開始ページ	開始ページ
1 ページ 1 問 個別判定 （正解すると進める）	開始ページ	開始ページ

ダウンロードは進捗状況が表示され、ダウンロード終了後に非表示になります。



動画・音声の自動再生

設定された動画・音声は、表のように環境により自動で再生を開始します。

	PC	iOS、Android
問題ビデオ	ページの表示直後、未判定ならば自動で再生を開始する	自動再生しない
問題音声	ページの表示直後、未判定ならば自動で再生を開始する	問題ページの表示直後、未判定ならば自動で再生を開始する (機種によってできない場合もある)
解説音声	個別判定の判定直後、自動で再生を開始する	個別判定の判定直後、自動で再生を開始する (機種によってできない場合もある)

エラー表示

コンテンツが異状等を検知した場合、状態によって下表のメッセージが表示されます。

番号	メッセージ	表示条件
-	この教材は受講済みです。	全体形式「結果表示なし」を設定し、既定の受講回数に達した状態でコンテンツを表示した場合
100	ご使用の環境では受講できません。Internet Explorer 互換モードを設定している場合は解除してください。	コンテンツ起動時、受講環境外バージョンのInternet Explorerを検知した場合
101	ご使用の環境では受講できません。 (このエラーは廃止されました)	iOS、Android で、起動時に受講環境対象外を検知した場合
102	ラーニングシステムと接続できませんでした。	iOS、Android で SCORM 1.2 / 2004 で出力された場合の起動時、LMS と通信が確立できなかった場合
103	ラーニングシステムとコースのプロトコルが一致しません。	LMS とコンテンツの設定プロトコルが一致しない場合 (iOS ではこのエラーは取得できません)
105	受講履歴を記録できません。プライベートブラウズを設定している場合はオフにしてください。	コンテンツ起動時、iOS Safari のプライベートブラウズを検知した場合
300	通信用インターフェイスをロストしています。履歴の記録ができません。	LMS の API と通信に失敗した場合

ページ移動

ページの移動を行う方法について表に示します。

Windows

	コントロールボタン	キーボード(※)	スワイプ
開始ページへ移動する	-	「Home」キー	-
前のページへ移動する	「前へ」ボタン	「←」キー	右へスワイプ
次のページへ移動する	「次へ」ボタン	「→」キー	左へスワイプ
最後のページへ移動する	「一覧」ボタン	「End」キー	-

Mac OS

	コントロールボタン	キーボード	スワイプ
開始ページへ移動する	-	「fn + ↑」キー	-
前のページへ移動する	「前へ」ボタン	「←」キー	右へスワイプ
次のページへ移動する	「次へ」ボタン	「→」キー	左へスワイプ
最後のページへ移動する	「一覧」ボタン	「fn + ↓」キー	-

終了ボタンの非表示

「機能」メニュー等に表示される「終了」ボタンは特定の条件では表示されません。

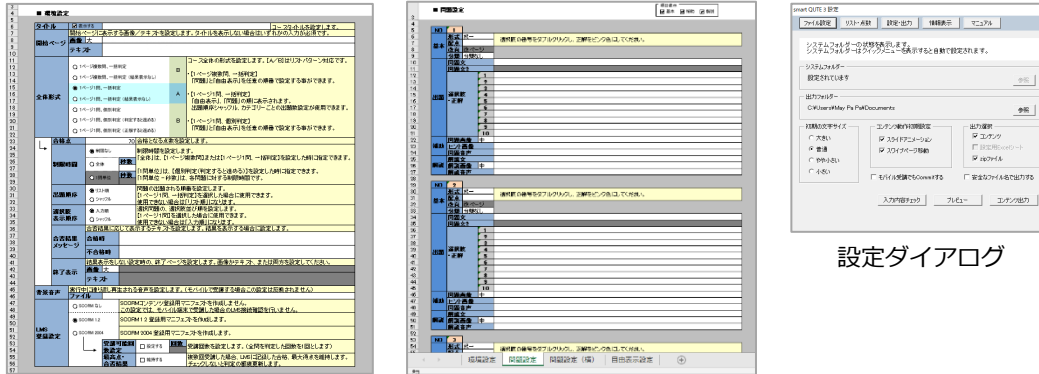
- 「終了」ボタン等非表示の条件
 - コンテンツがインラインフレーム等に表示され、ブラウザー直下に表示されない場合
- 非表示なるボタン等
 - ・ 開始ページ、ヘッダー領域「終了」ボタン
 - ・ 終了ページ、「終了」ボタン
 - ・ 機能メニュー、「コース終了」ボタン

全体形式ごと機能一覧表

全体形式		1ページ複数問 一括判定	1ページ複数問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 一括判定	1ページ1問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 個別判定	1ページ1問 判定すると進める 個別判定	1ページ1問 正解すると進める 個別判定
開始ページ		○	○	○	○	○	○	○
判定方式		一括	一括	一括	一括	一括 個別	個別	個別
得点設定可否判定		○	○	○	○	○	○	×
問題セクションを続けて表示		○	○	×	×	×	×	×
出題可能問題数		100	100	100	100	100	100	100
表示可能セクション数		100	100	100	100	100	100	100
一覧	一覧ページ	○	○	○	○	○	○	×
	一覧付終了ページ	×	×	×	×	×	×	○
	繰り返し受講	ボタン	自動	ボタン	自動	ボタン	ボタン	ボタン
	一覧ボタンの有効	常に	常に	常に	常に	常に	最後で	最後で
	結果表示	○	×	○	×	○	○	×
	レーダーチャート	○	×	○	×	○	○	×
終了ページ表示		×	○	×	○	×	×	×
制限時間	全体	○	○	○	○	×	×	×
	個別	×	×	×	×	×	○	×
自由表示追加		任意箇所	任意箇所	問題の前	問題の前	任意箇所	任意箇所	任意箇所
出題順序シャッフル		×	×	○	○	×	×	×
カテゴリー出題数設定		×	×	○	○	×	×	×
選択肢シャッフル		×	×	○	○	○	○	○
選択肢の横並び		○	○	×	×	×	×	×
D&D、並び替え問題		×	×	○	○	○	○	○
ヒント画像		×	×	○	○	○	○	○
画像		○	○	○	○	○	○	○
動画		×	×	○	○	○	○	○
音声		×	×	○	○	○	○	○
しおり		○	○	○	○	○	○	○
解説表示		○	×	○	×	○	○	○
LMS 連携	中断・再開	○	○	○	○	○	○	○
	受講回数制限	○	○	○	○	○	○	○
	最高点・結果維持	○	○	○	○	○	○	×
	送信ステータス	可否	可否	可否	可否	可否	可否	修了

smart QUTE 3 コンテンツ制作（設定用 Excel シート）

smart QUTE 3 コンテンツを制作するには設定用 Excel シートを使用します。



設定ダイアログ

Excel ワークシートフォーマット

設定用 Excel シートには入力用のフォーマット（[ワークシートフォーマット](#)）が設定されており、タイトルや問題文等をその中に入力していきます。

また、コンテンツ出力やページの並び替え等を行う[設定ダイアログ](#)の機能があります。

注意事項等

マクロについて

設定用 Excel シートは設定や出力等の各機能でマクロを使用しています。これらの機能を使用するため、マクロのセキュリティレベルを適切に設定する必要があります。

「[Excel のマクロセキュリティレベルの設定](#)」、「[Excel の Active X の設定](#)」を参考に設定を行ってください。

編集の制限

設定用 Excel シートのワークシートフォーマットは、既存のシート削除、既存シートへの行・列の挿入、削除を行うと正常に動作できなくなります。これらの操作を行わないようにご注意ください。

ワークシートフォーマット

設定用 Excel の各シートには、入力用フォーマットが設定されています。
フォーマット設定項目の詳細について説明します。

環境設定シート

タイトル、合格点等のコンテンツ全体に掛かる設定を行います。
設定項目中、グレーになっている場所は設定不要項目です。

■ 環境設定			
タイトル	☒ 表示する	新規コース	コースタイトルを設定します。
開始ページ	開始ページに表示する画像/テキストを設定します。タイトルを表示しない場合はいずれかの入力が必要です。		
	画像 大		
	テキスト		
全体形式	☐ 1ページ複数問、一括判定 ☐ 1ページ複数問、一括判定 (結果表示なし) ☒ 1ページ1問、一括判定 ☐ 1ページ1問、一括判定 (結果表示なし) ☐ 1ページ1問、個別判定 ☐ 1ページ1問、個別判定 (判定すると進める) ☐ 1ページ1問、個別判定 (正解すると進める)	B A B	コース全体の形式を設定します。[A/B]はリストボタンに対応です。 ・【1ページ複数問、一括判定】 「問題」と「自由表示」を任意の順番で設定する事ができます。 ・【1ページ1問、一括判定】 「自由表示」、「問題」の順に表示されます。 出題順序シャッフル、カテゴリごとの出題数設定が使用できます。 ・【1ページ1問、個別判定】 「問題」と「自由表示」を任意の順番で設定する事ができます。
合格点	☐ 合格となる点数を設定します。		
制限時間	☒ 制限なし ☐ 全体 秒数 ☐ 1問単位 秒数		制限時間を設定します。 「全体」は、【1ページ複数問】または【1ページ1問、一括判定】を設定した時に指定できます。 「1問単位」は、【個別判定 (判定すると進める)】を設定した時に指定できます。 「1問単位 - 秒数」は、各問題に対する制限時間です。
出題順序	☒ リスト順 ☐ シャッフル		問題の出題される順番を設定します。 【1ページ1問、一括判定】を選択した場合に使用できます。 使用できない場合は「リスト順」になります。 連続問題の、選択肢並び順を設定します。 【1ページ1問】を選択した場合に使用できます。 使用できない場合は「入力順」になります。
選択肢表示順序	☒ 入力順 ☐ シャッフル		結果表示をしない設定時の、終了ページを設定します。画像かテキスト、または両方を設定してください。
合格結果メッセージ	合格時	合格です。	
	不合格時	不合格です。	
終了表示	画像 大		
	テキスト		
背景音声	実行中に繰り返し再生される音声を設定します。(モバイルで受講する場合この設定は反映されません)		
	ファイル		
LMS登録設定	☐ SCORMなし ☒ SCORM 1.2 ☐ SCORM 2004		SCORMコンテンツ登録用マニフェストを作成しません。 この設定では、モバイル端末で受講した場合のLMS接続確認を行いません。 SCORM 1.2 登録用マニフェストを作成します。 SCORM 2004 登録用マニフェストを作成します。
	受講可能回数設定	☐ 設定する ☒ 回数	受講回数を設定します。(全問を判定した回数を1回とします) 複数回受講した場合、LMSに記録した合格、最大得点を維持します。 チェックしないと判定の都度更新します。
システム言語	☒ 日本語 ☐ 英語		ボタンに表示される文字等のシステムで表示するテキストの言語を指定します。

項目詳細

項目	説明
タイトル	コースのタイトルを入力します。 LMS 登録時のコースタイトルとして使用されます。
表示する	コースタイトルを「表示する/しない」を設定します。
開始ページ	画像、テキスト、または両方を設定することもできます。 タイトルを表示しない場合は、画像またはテキストの入力が必須です。
画像	開始ページで表示する画像を設定します。 表示サイズを「大/フル」から選択します。
テキスト	開始ページで表示するテキストを設定します。

全体形式	コースの全体形式を選択します。 詳細は「 smart QUTE 3 で制作できるコンテンツの全体形式 」 「全体形式ごと機能一覧表」 をご覧ください。	
合格点	テストの合格点を、0～100,000 の整数で入力します。	
制限時間	制限なし	制限時間機能を使用しません。
	全体	コース全体で制限時間が設定されます。 これを有効にした場合は、「秒数」に制限時間を 1～86,400（秒）の整数で入力します。
	1 問単位	各問題ごとに制限時間を設定します。 これを有効にした場合は、「秒数」に制限時間を 1～3,600（秒）の整数で入力します。
出題順序	リスト順	設定した問題を「リスト・点数」タブの並び替えリストで設定された順番で出題します。
	シャッフル	設定した問題を、無作為に並び替えて出題します。
選択肢 表示順序	全体形式「1 ページ 1 問」、問題形式「択一／複数選択」で機能が有効になります。	
	入力順	設定入力した順番で選択肢が表示されます。
	シャッフル	選択肢が無作為に並び替えて表示されます。
可否結果 メッセージ	合格時	合格時に表示するメッセージを入力します。
	不合格時	不合格時に表示するメッセージを入力します。
終了表示	画像	終了ページで表示する画像を設定します。 表示サイズ「大／フル」から選択します。
	テキスト	終了ページで表示するテキストを設定します。
背景音声	この機能は v3.1.16 で削除されました。	
LMS 登録設定	SCORM なし	SCORM 対応 LMS に搭載しない場合に選択します。 履歴の送信は行いません。 コンテンツ出力時に「imsmanifest.xml」ファイルの出力を行いません。
	SCORM1.2	SCORM1.2 対応 LMS に搭載する場合に選択します。
	SCORM2004	SCORM2004 対応 LMS に搭載する場合に選択します。
受講回数設定	コンテンツの受講制限を有効にします。 チェックした場合は「回数」を 1～999 の整数で設定します。 全問の判定を行うと回数が 1 プラスされ、設定された回数以上になると 受講できなくなります。	

最高点・ 合否結果	チェック	LMS に記録されている得点と判定後の得点を比較し、数値の高い方を記録します。 LMS に「合格」が記録されていれば、判定後の合否に関わらず「合格」を記録します。
	チェックなし	常に最新の得点、合否結果を記録します。
システム言語	日本語	ボタン等に表示される文字を日本語表示にします。
	英語	ボタン等に表示される文字を英語表示にします。

カテゴリー設定

■ カテゴリー設定

「カテゴリー名」と「出題数」を設定します。
「出題数」を空欄にすると、該当カテゴリーに設定されている問題全てが出題されます。

NO	カテゴリー名	出題数
1	分類なし	
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

項目	説明
カテゴリー名	問題に設定する「カテゴリー」の名称を設定します。
出題数	「カテゴリー名」が設定された問題の出題数を設定します。 1～100 の整数で入力、「空欄」の場合は「カテゴリー名」が設定された問題全てが出題されます。

カテゴリー設定の使用方法については
[「カテゴリーと出題数の設定」](#)をご覧ください。

ハイパーリンク設定

■ ハイパーリンク設定

ハイパーリンクに設定する文字列とリンク先を設定します。
セルにリンクにする文字列を入力して、リンク先を「ハイパーリンク」で設定してください。

NO	リンク文字
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

項目	説明
リンク文字	コース中で、ハイパーリンクにしたい文字を入力します。 さらに入力したセルに対して、Excel のハイパーリンク機能で、リンクさせたい外部ページを設定してください。

ハイパーリンク設定の使用方法については
[「テキストにハイパーリンクを設定する」](#)をご覧ください。

問題設定シート

問題各項目の設定を行います。設定可能な問題数は 1～100 問です。

NO	1		
基本	形式	択一	
	配点		
	改頁	改ページ	
	分類	分類なし	
出題	問題文		
	問題文2		
	選択肢・正解	1	
		2	
		3	
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	
		9	
10			
補助	問題画像	中	
	ヒント画像		
	問題音声		
解説	解説文		
	解説画像	中	
	解説音声		

項目詳細

項目		説明	
基本	NO	問題番号です、この項目は編集できません。 インタラクションの記録はこの番号をもとに ID が設定されます。	
	形式	プルダウン選択式	
		択一	択一問題を設定します。
		正誤	正誤問題を設定します。
		複数選択	複数選択問題を設定します。
		入力	入力問題を設定します。
		直接入力	文章内に入力枠のある入力問題を設定します。
		D&D	ドラッグアンドドロップ問題を設定します。
		並び替え	並び替え問題を設定します。
	配点	問題の配点を 1～100 の整数で入力します。 問題形式「入力」「直接入力」では入力枠、「D&D」ではドロップ枠 1 つに対する配点になります。	
	改頁	プルダウン選択式 全体形式「1 ページ複数問」の場合に有効になります。	
		改ページ	問題を表示する前にページ区切りを挿入します。
		続けて表示	前の表示に続けて同一のページで表示します。

出題	分類	プルダウン選択式 カテゴリー設定「カテゴリー名」に入力した項目がプルダウンで表示されます。 「分類なし」は、ひとつの分類として扱われます。 空欄の場合は、「分類なし」として扱われます。	
	問題文	問題文を入力します。 問題文セルが空欄の場合、他の項目が入力されていても問題が入力されていないものとして扱われます。	
	問題文 2	問題形式「直接入力」「D&D」で使います。 入力文章、ドロップ文章を入力します。	
	選択肢・正解	設定した問題形式により、設定する内容が変化します。 詳しくは「 問題形式ごと設定方法 」をご覧ください。	
		択一	選択肢を入力します。 番号をダブルクリックして正解を設定します。
		正誤	正／誤をダブルクリックして正解を設定します。
		複数選択	選択肢を各欄に 1 つずつ入力します。 番号をダブルクリックして正解を設定します。
		入力	入力欄に対する正解値を入力します。
		直接入力	入力欄の指定、正解値を入力します。
		D&D	ドラッグアイテムを入力します。 正解は問題文 2 に設定するドロップ欄に指定します。
		並び替え	並び替えアイテム及び正解順序を入力します。
	折り返し	全体形式「1 ページ複数問」、問題形式「択一／正誤／複数選択」の場合に表示されるチェックボックスです。 チェックを外した状態では、選択肢が横並びに配置されます。	
補助	問題画像	解答エリアで表示する画像／動画のファイルパスを設定します。 表示サイズ「大／フル／中大／中／小」から選択します。	
	ヒント画像	ヒント画像のファイルパスを設定します。	
	問題音声	判定前に再生する音声のファイルパスを設定します。	
解説	解説文	解説エリアで表示するテキストを設定します。	
	解説画像	解説エリアで表示する画像のファイルパスを設定します。 表示サイズ「大／フル／中大／中／小」から選択します。	
	解説音声	判定後に再生する音声のファイルパスを設定します。	

項目表示切り替え

項目表示

☒ 基本
 ☒ 補助
 ☒ 解説

問題設定の設定項目の表示／非表示を切り替えます。

問題設定（横）シート

問題設定の1問を1行で表示するシートです。問題設定シートと同期されます。
フィルハンドル（十字カーソル）ドラッグによるコピーなどに便利なシートです。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
	■ 問題設定														
	基本					出題									
	NO	形式	配点	改頁	分類	問題文	問題文2		正解	1	2	3	4	5	選択肢 / アイテム
1	1	択一	15	改ページ	用語	パソコンとは何の略称か。正しいものを選んでください。			2	パーソナルコンピュータ	パーソナルコンピュータ	パーソナルコンピュータ	パーソナルコンピュータ	パーソナルコンピュータ	
5	2	正誤	15	改ページ	OS	次のオペレーティングシステムについての説明が正しいの誤りを修正してください。 オペレーティングシステム(OS)はソフトウェアの種類の一つである。 OSは機器の基本的な管理や制御のための機能やシステム全体を管理する。		1							
6	3	複数選択	15	改ページ	ハードウェア	次の中からパソコンの入力装置として使用できるものをすべて選択してください。		1,3,5		キーボード	ヘッドフォン	マウス	プリンター	スキャナー	
7	4	直接入力	10	改ページ	用語	プログラムの追加と削除について述べた文が正しいように空欄に入力してください。	コンピュータソフトウェアを追加して使用可能にすることを一般的に###、またはセットアップと言います。それとは逆にコンピュータからソフトウェアを削除することを###2###と言います。			インストール install	アンインストール uninstall				

なお、問題設定シートとの機能の違いは次のとおりです。

- ・ 択一、正誤、複数選択の正解値を独立セルに番号で表示します。
正誤は正解が「1」、不正解が「2」で表示されます。
複数選択は複数数の正解値がカンマ区切りで表示されます
- ・ 1 ページ複数問、択一、正誤、複数選択の「折り返し」を独立セルに表示します。
- ・ 本シートに「機能」ボタンは表示されません。「機能」ボタンは他のシートにて使用してください。

自由表示設定シート

問題／講義ページに表示する、問題以外のテキスト・画像を設定するシートです。

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

■ 自由表示設定			
NO	形式	改ページ	表示
1	画像(フル)	改ページ	image/情報セキュリティ/スライド2.PNG
2	テキスト	続けて表示	参考:情報処理推進機構「情報セキュリティ10大脅威 2015」
3	画像(フル)	改ページ	image/情報セキュリティ/スライド3.PNG
4	画像(フル)	改ページ	image/情報セキュリティ/スライド4.PNG
5	画像(フル)	改ページ	image/情報セキュリティ/スライド5.PNG
6	HTML	改ページ	>10大脅威の中でも2015年に顕著だったもの</h2> インターネットバンキングやクレジットカード情報の不正利用</div> (事例)大手金融機関やクレジットカード会社などをかたるファッシング</div> ネットバンキングの不正送金ウイルス(オンラインバンキング攻撃ツール)を含め被害。以前のようなポップアップによるID、パスワード盗み取りという単純なものから、ウイルスを使って本物のサイトの一部を書き換える、振り込みの送金先を変更するなど高度な攻撃が行われている。</div> 会社だけでなく個人にも被害が拡大しております。</div>
7	画像(フル)	改ページ	情報セキュリティ/スライド8.PNG
8	画像(フル)	改ページ	情報セキュリティ/スライド9.PNG
9	画像(フル)	改ページ	情報セキュリティ/スライド10.PNG

項目詳細

項目	説明	
形式	プルダウン選択式	
	画像（大）	最大幅 640px の領域に画像を表示します。
	画像（フル）	最大幅 960px の領域に画像を表示します。
	テキスト	テキストを表示します。 Excel の機能で文字修飾を設定することができます。
	HTML	テキストを表示します。 「テキスト」との違いは次のとおりです。 ・セルの文字修飾は反映されません。 ・セル内の改行は反映されません。 ・ハイパーリンクは反映されません。 HTML タグをセル内全体で使用する場合に使用してください。
改ページ	プルダウン選択式 全体形式「1 ページ複数問」の場合に有効になります。	
	改ページ	問題を表示する前にページ区切りを挿入します。
	続けて表示	前の表示に続けて同一のページで表示します。
表示	表示セルが空欄の場合、他の項目が入力されていても入力されていないものとして扱われます。	
	画像（大）	画像のファイルパスを設定します。
	画像（フル）	画像のファイルパスを設定します。
	テキスト	表示するテキストを設定します。
	HTML	表示するテキストを設定します。

注意

コンテンツは表示する情報が多くなると、受講する環境によってレスポンスが低下する等の問題が発生する場合があります。

制作したコンテンツは必ず受講対象環境での動作を確認していただくとともに、レスポンスの低下等の問題が懸念される場合はコンテンツを分割する等の情報量削減を検討してください。

問題形式ごとの設定方法

択一問題

「選択肢・正解」項目 1～10 に選択肢を入力します。

正解選択肢の番号をダブルクリックしてピンク色にします。

出題	問題文	パソコンとは何の略称か、正しいものを選んでください	
	問題文2		
	選択肢・正解	1	パーソナルコンデンサー
		2	パーソナルコンピューター
		3	パーソナルコンプレッサー
		4	パーソナルコンビニエンス
		5	パーソナルコンサルタント
		6	パーソナルコンバイン
		7	
		8	
		9	
10			

1～10 の選択肢を入力する

正解選択肢の番号をダブルクリックしてピンク色にする

正誤問題

「正解」項目、「正／誤」いずれかをダブルクリックしてピンク色になった項目が正解に設定されます。

出題	問題文	次のオペレーティングシステムについての説明	
	問題文2		
	正誤	正	
		誤	

正／誤いずれかを正解に設定する

複数選択問題

「選択肢・正解」項目 1～10 に選択肢を入力します。

正解選択肢の番号全てをダブルクリックしてピンク色にします。

出題	問題文	次の中からパソコンの入力装置として使用できる	
	問題文2		
	選択肢・正解	1	キーボード
		2	ヘッドフォン
		3	マウス
		4	プリンター
		5	スキャナー
		6	ディスプレイモニター
		7	
		8	
		9	
10			

1～10 の選択肢を入力する

正解選択肢の番号をダブルクリックしてピンク色にする

入力問題

「正解」項目に、1～10の正解値を設定します。

1セルの正解入力に対し1つの入力枠が作成されます。

入力の正解パターンが複数ある場合はセル内で改行し複数の正解を設定してください。

Excel

問題文	問題文2	
出題	正解	1 インストール install
		2 アンインストール uninstall
		3
		4
		5

複数の正解パターンはセル内で改行して入力する

コンテンツ

プログラムの追加と削除について述べた文が正しくなるように空欄に入力してください。

1.

2.

1セルの正解入力に対し1つの入力枠が作成される

直接入力問題

「入力用テキスト」に入力枠を表示する文章を入力します。

文章中の入力枠となる箇所に「###n###」（nは対応する正解値番号）を入力します。

「正解」項目、入力枠を設定した項目に正解値を設定します。

入力の正解パターンが複数ある場合はセル内で改行し複数の正解を設定してください。

Excel

問題文	入力用テキスト	
出題	プログラムの追加と削除について述べた文が正しくなるように空欄に入力してください。	
	コンピュータにソフトウェアを追加して使用可能にするを一般的に###1###、またはセットアップと言います。それとは逆にコンピュータからソフトウェアを削除することを###2###と言います。	
	1 インストール install	
	2 アンインストール uninstall	
	3	

入力枠に設定した番号に対する正解値を設定する

入力枠「###n###」を設定

コンテンツ

プログラムの追加と削除について述べた文が正しくなるように空欄に入力してください。

コンピュータにソフトウェアを追加して使用可能にするを一般的に 、またはセットアップと言います。それとは逆にコンピュータからソフトウェアを削除することを と言います。

入力問題、直接入力問題の正解設定には次の制限等があります。

- ・ セルの先頭にある「'」（半角シングルクォーテーション）」は無いものとされます。
- ・ 正解に改行を含めることはできません。

ドラッグアンドドロップ問題

「ドロップ領域・正解」に、ドロップ枠を表示する文章を入力します。

文章中ドロップ枠となる箇所に「###n###」(nは対応する正解値番号)を入力します。

「ドラッグアイテム」項目、1～10を設定します。

Excel

出題	問題文	ハードディスクについての説明文を、下のアイテムをドロップして完成させてください。	
	ドロップ領域・正解	ハードディスクとは補助記憶装置の一種であり###2###と略することがあります。回転軸やモーターなどの駆動装置が必要で、使用過程において他の部品より故障する可能性は高いといえます。近年ではフラッシュメモリを使用した###3###がハードディスクと同じ用途で使用されることが多くなっています。	
	ドラッグアイテム	1	HHD
		2	HDD
		3	SSD
		4	SDD
		5	CRT
		6	CLD
		7	
8			

ドロップ枠「###n###」を設定

2 番目のアイテム「HDD」が正解

3 番目のアイテム「SSD」が正解

コンテンツ

ハードディスクについての説明文を、下のアイテムをドロップして完成させてください。

ハードディスクとは補助記憶装置の一種であり ① と略することがあります。回転軸やモーターなどの駆動装置が必要で、使用過程において他の部品より故障する可能性は高いといえます。近年ではフラッシュメモリを使用した ② がハードディスクと同じ用途で使用されることが多くなっています。

HDD HDD SSD SDD CRT CLD

同一の正解値番号を設定したドロップ枠はクローンとして扱われます。

Excel

出題	問題文	世界保健機関の説明文をアイテムを枠にドラッグして完	
	入力用テキスト	人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目標としてあり略称は###1###である。###1###の本部はス	
	ドラッグアイテム	1	WHO
		2	IMF
3		ILO	

ドロップ枠「###1###」を2つ設定

コンテンツ

世界保健機関の説明文をアイテムを枠にドラッグして完

人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目標としてあり略称は ① である。 ① の本部はス

WHO IMF ILO

世界保健機関の説明文をアイテムを枠にドラッグして完

人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目標としてあり略称は WHO である。 ① の本部はス

IMF ILO

世界保健機関の説明文をアイテムを枠にドラッグして完

人間の健康を基本的人権の一つと捉え、その達成を目標としてあり略称は WHO である。 WHO の本部はス

WHO IMF ILO

同じ番号のドロップ枠が2つ作られる

片方の枠にアイテムをドロップする

2つの枠にアイテムが設定される

並び替え問題

「アイテム・正解」に、並び替えアイテムを入力します。

アイテムの先頭に「###n###」（nは正解時の並び順番号）を入力します。

nは0～99の値を設定し、連番でなくても構いません。

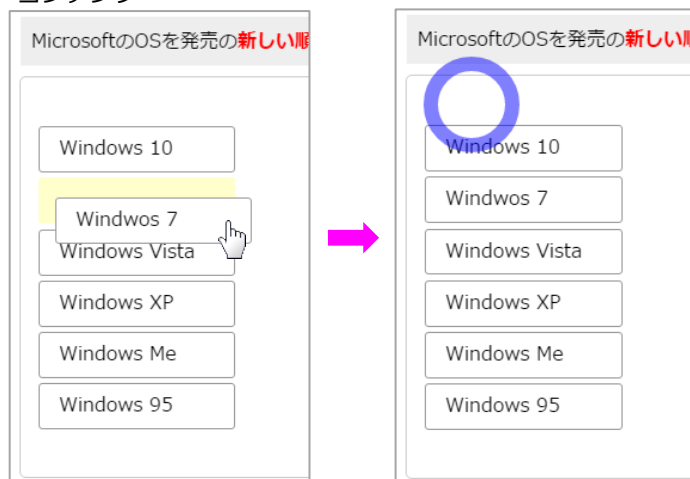
Excel

出題	問題文	Microsoftの OSを発売の 新しい順		
	問題文2			
	アイテム ・ 正解	1	###3###	Windows Vista
		2	###1###	Windows 10
		3	###4###	Windows XP
		4	###5###	Windows Me
		5	###2###	Windows 7
		6	###6###	Windows 95
		7		
		8		
		9		
10				

1～10 の並び替えアイテムを入力する

アイテムの先頭に正解並び順を「###n###」で設定する

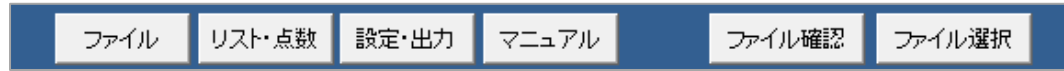
コンテンツ



並び替えで、正解並び順番号昇順になれば正解

機能ボタン

各種設定、コンテンツ出力等の機能を提供するダイアログを表示するボタンです。
環境設定シート、問題設定シート、自由表示設定シートの上部に表示されています。



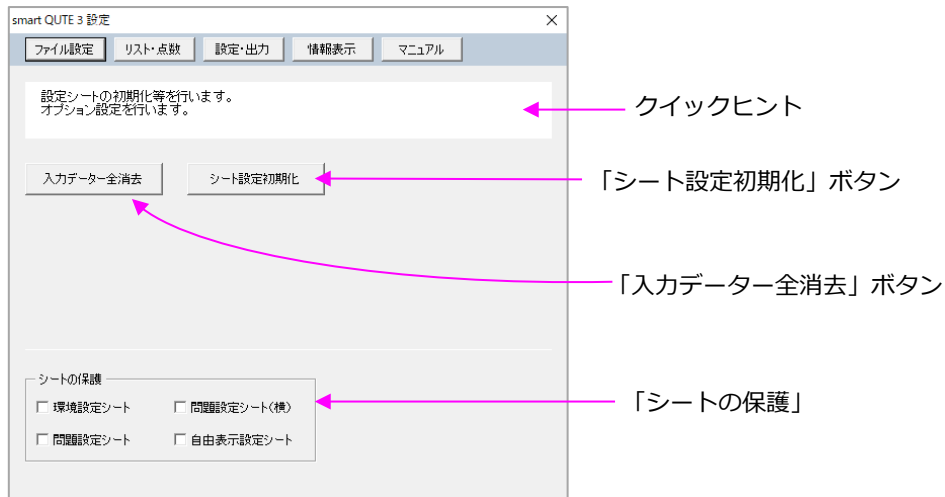
- 「ファイル」 ボタン
smart QUTE 3 設定ダイアログ「ファイル設定」タブを表示します。
- 「リスト・点数」 ボタン
smart QUTE 3 設定ダイアログ「リスト・点数」タブを表示します。
- 「設定・出力」 ボタン
smart QUTE 3 設定ダイアログ「設定・出力」タブを表示します。
- 「マニュアル」 ボタン
smart QUTE 3 設定ダイアログ「マニュアル」タブを表示します。
- 「ファイル確認」 ボタン
ファイルプレビューダイアログを表示します。
- 「ファイル選択」 ボタン
ファイル選択ダイアログを表示します。
開始ページ画像、問題音声等の外部ファイルを設定する場合、該当のセルをアクティブにしたのちにこのボタンを押してファイルを選択してください。

smart QUTE 3 設定ダイアログ

設定ダイアログには機能ページがあり、ボタンで切替えて表示します。

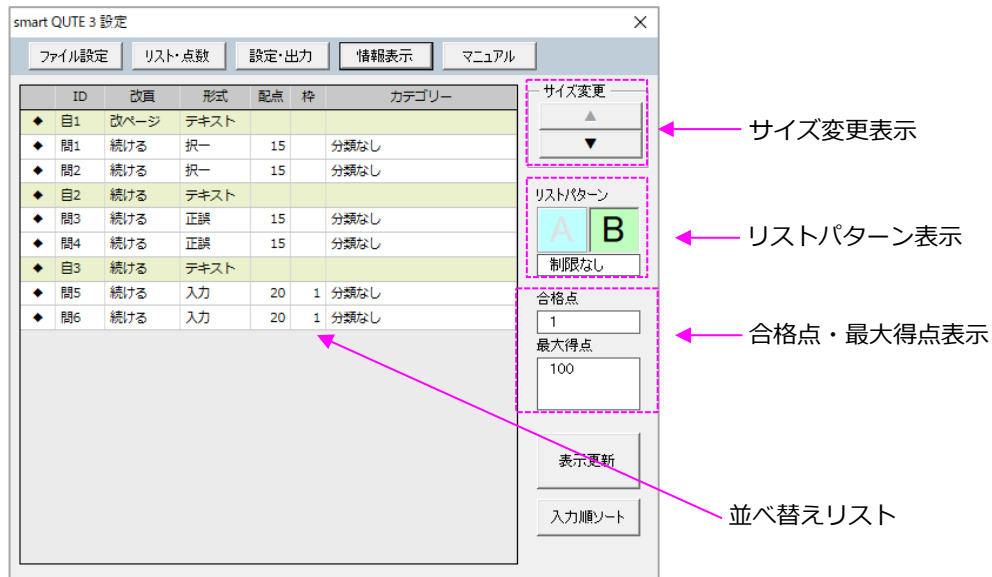
設定ダイアログは表示したままシートの操作・編集が行えます。

「ファイル設定」機能



- クイックヒント
各項目をマウスオーバーすると、簡易説明が表示されます。
- 「入力データ全消去」ボタン
入力内容をすべて消去します。
シート、行、列を削除した場合は復帰されません。
- 「シート設定初期化」ボタン
「入力データ全消去」と同じように入力内容をすべて消去して、択一問題が1問設定された状態にします。このままプレビュー・出力を行うことができます。
- シートの保護
各シートに、Excelの保護機能を設定します。
これがチェックされているとフォーマットを崩すような編集ができなくなります。

「リスト・点数」機能



問題・自由表示セクション表示順の確認・表示順並び替え操作、設定した点数の自動計算表示を行います。

- 並べ替えリスト

- ・ 問題設定、自由表示の有効な入力を一覧で表示します。
- ・ リストの項目をダブルクリックすることで、該当の設定シート箇所へ移動します。
- ・ リスト項目

	PC
ID	問題番号、自由表示番号が表示されます。
改頁	問題設定、自由表示設定の項目「改頁」に設定された内容を表示します。 ・ 改ページ リスト項目（セクション）がページを変えて表示されます。 ・ ※改ページ 設定で「続けて表示」が設定されたものの、システムが「改ページ」にする必要があると判断された場合に表示されます。 ・ 続けて表示 直前のセクションに続けて表示します。
形式	問題形式、自由表示の形式を表示します。
配点	問題に設定された配点が表示されます。
枠	入力問題、直接入力問題、ドラッグアンドドロップ問題において、解答枠の数を表示します
カテゴリー	設定した「分類」を表示します。

- ・ リストは、項目をドラッグアンドドロップして並び替えが行えます。
 - ・ 作成されたコンテンツはリストで並べられた順番に出題されます。（出題順序「シャッフル」又は、カテゴリー出題数を設定した場合は除く）
 - ・ 並び替えを行っても設定シートは変更されません。
 - ・ リストの選択は、行をクリックして選択、ドラッグして複数選択、「Shift/Ctrl」キーを使用して複数選択が行えます。
- サイズ変更
 サイズ変更ボタンを押して、ダイアログの上下サイズを変更する事ができます。
 サイズの変更は、設定用 Excel シートの再起動でリセットされ、標準サイズに戻ります。
 - 「合格点」「最大得点」表示
 環境設定で設定した「合格点」を表示します。
 各問題で設定した配点から計算した最大得点を表示します。
 - 「更新」ボタン
 リストの表示を更新します。
 並べ替えリスト、合格点、最大得点の各表示は、設定ダイアログを表示したままシートを編集した場合は自動で更新されません。
 このような場合は「更新」ボタンで情報を最新にしてください。
 - 「入力順ソート」ボタン
 リストの項目を、シートに入力した順番でソートします。
 ソートは全体形式に関わらず、自由表示、問題の順で並べられます。
 - 並び替えリスト「A/B」について
 リストは2つのパターン「A/B」があり、設定した全体形式によって切り替わります。
 現在のリストは、「リストパターン表示」で確認する事ができます。
- ① リストパターン「A」、一括判定用リスト
 全体形式「1ページ1問、一括判定」2形式を選択した場合のリストです。
 「自由表示セクション」と「問題セクション」をそれぞれ表示します。
[「全体形式の違いによる問題・自由表示セクションの表示ルール図解」](#)に沿ったルールでの並び替えが行えます。
 - ② リストパターン「B」、1ページ複数問、および個別判定用リスト
 全体形式「1ページ複数問」2形式、「1ページ1問、個別判定」3形式を選択した場合のリストです。全てのセクションを自由に並び替える事ができます。

リストパターンは、環境設定シート「全体形式」の右にある「A/B」表示と対応しています。

環境設定シート「全体形式」A

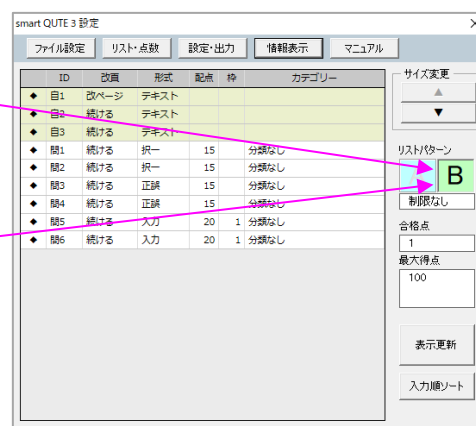
全体形式	☐ 1ページ複数問、一括判定	B
	☐ 1ページ複数問、一括判定（結果表示なし）	
	☒ 1ページ1問、一括判定	A
	☐ 1ページ1問、一括判定（結果表示なし）	
	☐ 1ページ1問、個別判定	B
	☐ 1ページ1問、個別判定（判定すると進める）	
	☐ 1ページ1問、個別判定（正解すると進める）	
	☐ 1ページ1問、個別判定（正解すると進める）	



「自由表示セクション」、「問題セクション」
それぞれの中で並び替えが行えます。

環境設定シート「全体形式」B

全体形式	☒ 1ページ複数問、一括判定	B
	☐ 1ページ複数問、一括判定（結果表示なし）	
	☐ 1ページ1問、一括判定	A
	☐ 1ページ1問、一括判定（結果表示なし）	
	☐ 1ページ1問、個別判定	B
	☐ 1ページ1問、個別判定（判定すると進める）	
	☐ 1ページ1問、個別判定（正解すると進める）	
	☐ 1ページ1問、個別判定（正解すると進める）	

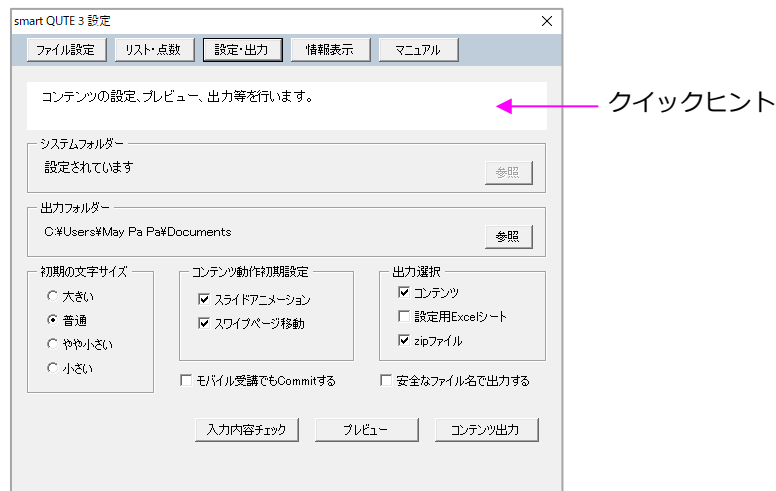


全てのセクションを自由に並び替える
事ができます

注意

並び替えリストは、「ファイル設定」機能、「外部ファイル設定」を切り替えた直後等、正しく表示されない場合があります。この場合、キーボードの「F5」を押して再読み込みを行い、最新の状態に更新してください。

「設定・出力」機能



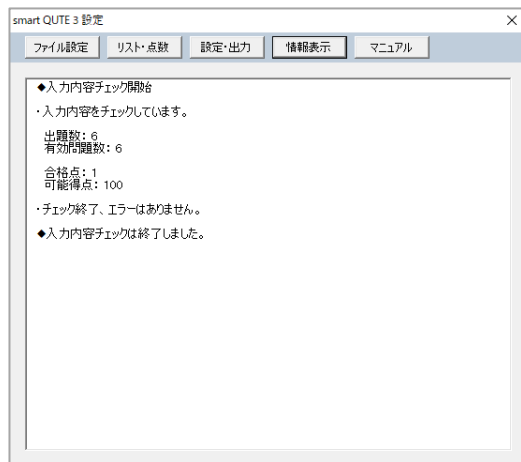
システムフォルダーの状態表示、出力フォルダーの設定・表示、出力選択、プレビュー、コンテンツ出力等を行います。

項目	説明
クイックヒント	各項目をマウスオーバーすると、簡易説明が表示されます。
システムフォルダー	smart QUTE 3 システムフォルダーの状態を表示します。
出力フォルダー	コンテンツを出力するフォルダーを設定・表示します。
初期の文字サイズ	コンテンツ表示時の文字サイズを設定します。 この設定は受講者が変更可能です。 ・「大きい」 コンテンツ文字サイズを「110%」で表示します。 ・「普通」 コンテンツ文字サイズを「100%」で表示します。 ・「やや小さい」 コンテンツ文字サイズを「90%」で表示します。 ・「小さい」 コンテンツ文字サイズを「80%」で表示します。
コンテンツ動作初期設定	この設定は受講者が変更可能です。 ・「スライドアニメーション」チェックボックス スライドアニメーションを有効にします。 ・「スワイプページ移動」チェックボックス スワイプでのページ移動を有効にします。
モバイル受講でもCommitする	Android、iOS 端末で受講した場合も、PC 受講と同じタイミングで途中履歴を LMS に記録します。 途中履歴の記録は解答を行う都度実施され、その度に通信が発生します。そのためこの設定を有効にすると、有効にしない状態と比べ

	動作は遅くなります。 この設定は、ユーザーのストレスが増えても記録の確実性を向上する必要がある場合に有効にしてください。 なお記録タイミングの詳細は、資料「学習履歴の管理（SCORM 仕様）」をご覧ください。 smart FORCE に搭載する場合は、LMS の通信切断時のバックアップ機能があるため、この設定は通常オフにしてください。
出力選択	「コンテンツ出力」ボタンで出力するファイル等を選択します。 ・「コンテンツ」 コンテンツフォルダーを出力します。 ・「設定用 Excel シート」 コンテンツフォルダー内に設定用 Excel シートを出力します。 これにチェックをすると、「コンテンツ」も自動的にチェックされます。 出力された設定用 Excel シートは、同時に出力するコンテンツフォルダー内に外部ファイルのリンクが書き直されるため、ファイルの管理がしやすくなります。 ・「zip ファイル」 SCORM 対応 LMS に登録するための zip ファイルを出力します。
入力内容チェック	出力を実施せず、入力内容の確認を行います。 確認内容は「情報表示」機能に表示されます。
プレビュー	入力内容の確認を行い、設定した内容を既定のブラウザでプレビューします。 ファイル出力を行わないため「コンテンツ出力」より高速にコンテンツを表示確認する事ができます。
コンテンツ出力	入力内容の確認を行い、出力選択で選択された項目を出力フォルダーに出力します。

※ セルの書式設定を使用した文字修飾を行った場合、プレビュー、コンテンツ出力にとても時間がかかることがあります。これが発生した場合は「[セルの書式設定を使用した文字修飾](#)」の出力パフォーマンスダウンを回避する」の手順に沿って再実施してください。

「情報表示」機能



入力内容チェック、プレビュー、各種出力時の進捗状況、結果、エラー内容を表示します。

「マニュアル」機能



smart QUTE 3 ユーザーマニュアルを表示するリンク、製品情報 Web サイトへのリンク、およびコピーライト、バージョン情報を表示します。



プロダクトキーを入力していない状態では、体験版表示、「プロダクトキー入力」ボタン、体験版の制限事項の説明が表示されます。

「ファイルプレビュー」ダイアログ

設定した外部ファイルをプレビューします。

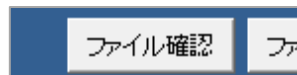
画像・音声など外部ファイルを設定したセルにフォーカスがある場合、このダイアログが表示されているとプレビューが行われます。

ダイアログサイズ「大・中・小」ボタンを押してダイアログサイズを変更できます。

ファイルを設定したセルを選択する。

		9	
		10	
補助	問題画像	中	C:/img/01.mp4
	ヒント画像		
	問題音声		

「ファイル確認」ボタンを押す。



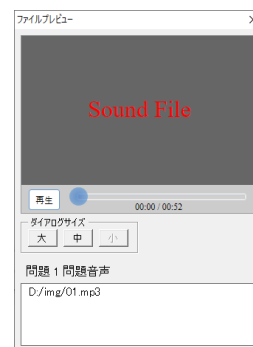
ファイルがプレビューされる。



画像ファイル



ビデオファイル



音声ファイル

ファイル確認ダイアログは表示したままシートの操作・編集が行えます。

smart QUTE 3 を使いこなす

画像、動画、音声外部ファイルを設定する

smart QUTE 3 は、画像、動画、音声を外部ファイルとして読み込むことができます。
外部ファイルの設定は、設定用 Excel シートの各入力欄にファイルパスを入力（ファイル
選択ダイアログで指定）することで行います。

使用可能な外部ファイル

種類	ファイルの種類（拡張子）	特記
画像	JPEG（.jpg、.jpeg）	
	PNG（.png）	透過をサポート
	GIF（.gif）	透過をサポート、アニメーション GIF サポート
動画	H.264（.mp4）	問題画像のみに設定可能
音声	MP3（.mp3）	

設定可能場所、設定可能サイズ

場所	種類	設定可能サイズ
開始ページ	画像	フル、大
終了ページ	画像	フル、大
問題画像	画像／動画	フル、大、中大、中、小
ヒント画像	画像	原寸表示
問題音声	音声	-
解説画像	画像	フル、大、中大、中、小
解説音声	音声	-

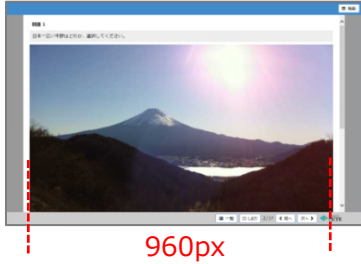
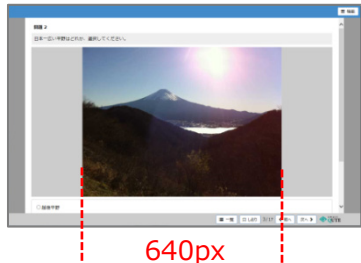
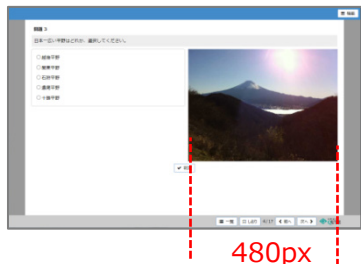
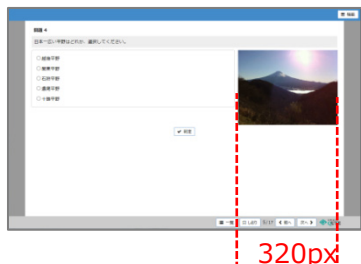
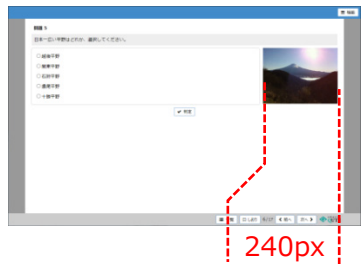
メディアファイルの同時設定

問題ビデオ、問題／解説音声は、他メディアの設定状態に関係なく設定する事ができます。
問題ビデオ、問題／解説音声を全て同時に再生することもできますが、このように2つ以上
のメディアが同時に再生されるような設定は極力避けてください。

画像・動画表示サイズ

画像・動画の設定サイズとは表示の最大幅を設定するものです。設定した表示サイズよりコンテンツの画面サイズが小さい場合、画像は画面に合わせて縮小されます。

結果としてスマートフォンでは設定サイズによる表示の変化がないか、少なくなります。

設定 サイズ	PC での表示	スマートフォンでの表示	説明
フル	 960px		最大幅 960px（表示領域の横幅いっぱい）に表示します。 高さは縦横比を維持して調整されます。
大	 640px		最大幅 640px で表示します。 高さは縦横比を維持して調整されます。
中大	 480px		最大幅 480px で表示します。 高さは縦横比を維持して調整されます。
中	 320px		最大幅 320px で表示します。 高さは縦横比を維持して調整されます。
小	 240px		最大幅 240px で表示します。 高さは縦横比を維持して調整されます。

ハイパーリンクを設定する

smart QUTE 3 では、設定したテキストにハイパーリンクを設定することができます。

ハイパーリンク設定方法

1. Excel 設定シート「環境設定、ハイパーリンク設定」で、ハイパーリンクとして機能させたい文字を入力します。

■ ハイパーリンク設定

ハイパーリンクに設定する文字列とリンク先を設定します。
セルにリンクにする文字列を入力して、リンク先を「ハイパーリンク」で設定してください。

NO	リンク文字
1	内閣府防災情報
2	
3	
4	
5	
6	
7	

コース中でハイパーリンクに設定する文字

2. 続いて、入力したセルに対して Excel のハイパーリンク機能でリンクさせたい外部ページアドレスを設定します。

ハイパーリンクの挿入

リンク先: 表示文字列(I): 内閣府防災情報

検索先(L): work

現在のフォルダー(U): video

ブラウズしたページ(B):

最近使ったファイル(S):

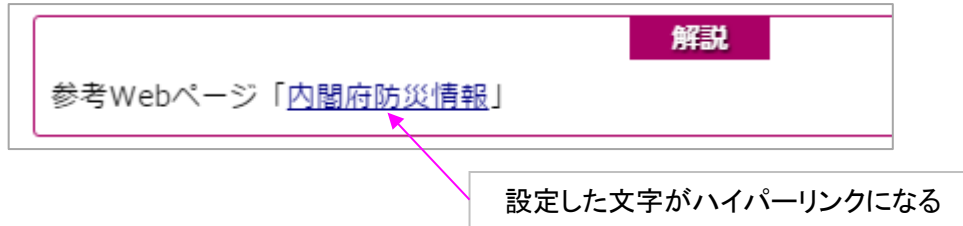
アドレス(E): <http://bousaigo.jp/>

OK キャンセル

3. 設定するセルのテキスト中に、「ハイパーリンク設定」で入力したリンク文字を含む文字を入力します。下の例は、解説文にハイパーリンクで設定した文字を含むテキストを入力しています。

解説	問題音声	
	解説文	参考Webページ「内閣府防災情報」
	解説画像	中
	解説音声	

4. コンテンツに、ハイパーリンクが設定されます。



注意

ハイパーリンクが設定される文字は以下の制限があります。

- ・セルの書式設定を使用した文字修飾は、リンクとなる文字の設定が全て同じである
- ・HTML タグが挟まっていない

リンク文字、リンクアドレスの入力では以下の制限・注意事項があります。

- ・リンク文字に 2 桁以下の半角数字のみは使用できません。
- ・リンクアドレスに同一ページ内リンクが設定されている場合、「#」以降の入力無視されます。
- ・リンク文字をオートフィルを使用して他のセルにコピーをしたような場合、Excel シートではハイパーリンクが動作していても出力したコンテンツでは正しく動作しない事があります。
- ・複数のセルを選択した状態でハイパーリンクを設定した場合、リンク文字の入力が空欄でハイパーリンクだけが設定されているセルがある場合は出力したコンテンツで正しくハイパーリンクが設定されない事があります。

ハイパーリンクで開く HTML ページや PDF ページは、コンテンツとは別のウィンドウ、タブ、環境により専用のアプリで表示されます。

必要に応じリンク先ページを見終わったらコンテンツに戻るよう注意喚起をすると良いでしょう。

セルの書式設定を使用した文字修飾

smart QUTE 3 では、ほとんどの入力テキストに文字色の変更、太字等の文字修飾を設定することができます。

文字修飾設定方法

入力したテキストに、Excel の機能で文字修飾を設定してください。

文字修飾が設定可能なセルにテキストを入力する。

問題文	次の言葉の意味をあらわしているものを1つ選んでください。沽券にかかわる
問題文2	
1	
2	

Excel セルの書式設定機能を使用して文字を修飾する。

The diagram illustrates the process of applying formatting. At the top, an Excel-style ribbon shows the font 'MS Pゴシック' and size '11'. Below it, a toolbar contains icons for Bold (B), Italic (I), Underline (U), a grid icon, a background color icon, and a text color icon (A). A pink arrow points from the text color icon to the text '沽券にかかわる' in the table. Another pink arrow points from the text '改行' (line break) to the end of the text in the table. A third pink arrow points from the text '文字色「青」、太字、文字サイズ「18pt」' (text color 'blue', bold, text size '18pt') to the text '沽券にかかわる'.

問題文	次の言葉の意味をあらわしているものを1つ選んでください。 沽券にかかわる
問題文2	
1	
2	

コンテンツでの表示

問題 1

次の言葉の意味をあらわしているものを1つ選んでください。

沽券にかかわる

☐ 自分の財産が失われる危険がある

☐ 自分の努力が報われない

☐ 自分のプライドが傷つけられる

設定可能な修飾

修飾種類	説明
文字サイズ	フォントサイズ「11pt」がコンテンツの基準文字サイズです。
文字色	文字色「黒」が標準の文字色です。
太字	太字を設定します。（フォントが対応している必要があります）
斜体	斜体を設定します。（フォントが対応している必要があります）
下線	下線を設定します。
上付き	文字を上付きにします。
下付き	文字を下付きにします。
改行	改行を挿入するには、セル内で改行（Alt + Enter）してください。

設定例

$\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{H}_2 + \text{O}_2$ 化学反応式、2 に「下付き、文字サイズ 8pt」を設定

$2^{12} = 4,096$ 数式、12 に「上付き、文字サイズ 8pt」を設定

選択肢から間違っているものを選びなさい。 注意喚起「赤、太字」を設定

「セルの書式設定を使用した文字修飾」の出力パフォーマンスダウンを回避する

セルの書式設定を使用した文字修飾を行うと、プレビュー、コンテンツ出力にかかる時間がとても長くなることがあります。

プレビュー、コンテンツ出力に時間が多くかかる場合は、次の方法を実施してください。

1. [Ctrl + Break] キーを押し、プレビュー出力を中断する
(プログラムの実行状態によっては中断できない場合もあります。)
2. 文字修飾を設定したセルをダブルクリックし、セルを編集状態にする
3. セルの編集状態を解除して、再度プレビュー、出力を行う

文字修飾の確認速度は直前に編集状態であったセルの影響を受け、直前に編集していたセルの横幅が広ければ文字修飾確認時のパフォーマンスダウンを防ぐ事ができます。

HTML タグの使用

smart QUTE 3 では、ほとんどの入力テキストで HTML タグを使用することができます。

HTML タグの設定は HTML の知識が必要です。

テキストに対する修飾は[セルの書式設定を使用した文字修飾](#)を使用してください。

外部ページへのハイパーリンクは[ハイパーリンク設定](#)機能を使用してください。

HTML タグ設定例、画像の追加例

タグを使用すると、本来画像が設定できない領域に画像を表示することが可能です。下はテキストで表現できない数式を、画像を設定して表示する例です。

次の公式の説明として、正しいものを全て選べ。

```

```

※Excel シートと同じフォルダ内「image」フォルダーの「root.png」を表示する



コンテンツでの表示

次の公式の説明として、正しいものを全て選べ。

$$AB = \sqrt{(b1 - a1)^2 + (b2 - a2)^2}$$

画像

上記のようにタグで設定された画像ファイルは、問題画像等と同様にプレビュー、コンテンツ出力でコンテンツに反映されます。

その他の方法（スタイルシートの background-image、Object タグ等）で指定した画像、画像以外の外部ファイルはプレビューでは表示されず、コンテンツ出力では自動で構成には追加されないためご注意ください。

HTML タグ設定例、スタイルシートの使用例

スタイルシートを使用すると、Excel シートでの文字修飾では設定できない修飾を行う事ができます。

次の公式の説明として、`<span style="border-bottom: double 3px #ff0000;">`正しいものを全て`</span>`選べ。

次の公式の説明として、正しいものを全て選べ。

次の公式の説明として、正しいものを`<span style="color: #FFF; background-color: #ff0000;">`全て`</span>`選べ。

次の公式の説明として、正しいものを**全て**選べ。

HTML タグ使用の制限

HTML タグを使用した表示は、ブラウザごとの表示解釈の違いにより環境によっては意図しない表示になる場合があると同時にコンテンツの表示・動作を崩す可能性があります。

HTML タグは受講環境で表示を確認して設定してください。

また HTML タグはその全ての使用を保証するものではありません。

使用できる HTML タグに制限を設けています。style、script、input、meta、link タグは削除されます。

変更が必要な文字

文字の中には、HTML で表示される際に特別な記号として使用されるものがあります。次の文字を使用する場合は、表にある置き換え文字を使用してください。

制限	使用を制限される文字	置き換え文字	備考
変換	< (半角 不等号)	<	HTML タグを設定する場合は、置き換え文字を使用せずに使用してください
無効	' (半角シングルクォーテーション)		セル先頭にある[']はないものとされる

設定項目ごとの文字修飾使用の可否

設定シート項目		文字修飾	HTML タグ	ハイパー リンク	表示ページ
環境設定	タイトル	×	×	×	開始ページ
	開始ページ テキスト	○	○	○	開始ページ
	合否結果メッセージ	○	○	○	一覧・結果ページ
	終了 テキスト	○	○	○	終了ページ
問題設定	問題文	○	○	○	問題セクション
	問題文 2	○※	○	×	
	択一 選択肢 1～10	○	○	×	
	複数選択 選択肢 1～10	○	○	×	
	D&D アイテム 1～10	○	○	×	
	並び替え アイテム 1～10	○	○	×	
	解説文	○	○	○	
自由表示	テキスト	○	○	○	自由表示セクション
	HTML	×	○	×	

※注意

設定する入力枠（直接入力問題）、ドロップ枠（ドラッグアンドドロップ問題）の「###n###」には文字修飾を設定しないでください。

注意

セル全体に同じ文字修飾を設定する場合を除き、HTML タグには文字修飾を設定しないでください。HTML タグが修飾されていると意図した表示ができない場合があります。

注意

出力で Excel 設定シートを出力した場合、一つのセルに文字修飾とタグが含まれていると出力された Excel シートでは文字修飾が解除されます。
タグと文字修飾は同一セルに設定しないようにしてください。

カテゴリと出題数の設定

smart QUTE 3 では、問題にカテゴリ（分類）を設定することができます。

カテゴリの用途

● 出題数制限

同一のカテゴリを割り当てた問題の出題数を設定することができます。

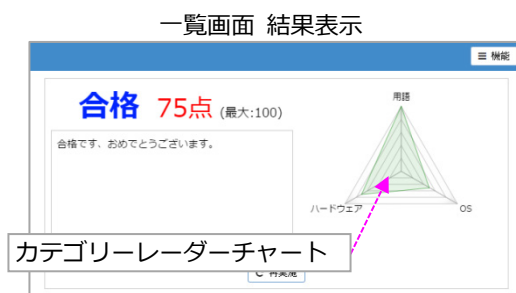
カテゴリ「A」の問題を 20 問設定して出題数を「10」と設定すれば、「A」20 問からランダムで抽出された 10 問が出題されます。

- ・ ランダム抽出された問題の出題順序は、環境設定「出題順序」の設定「リスト順／シャッフル」が反映されます。
- ・ 全ての問題を同一のカテゴリにして「出題数」を設定することにより、設定した問題全てから任意に出題数を設定することができます。

● 結果表示、カテゴリレーダーチャート表示

結果表示でカテゴリごとの正解率をレーダーチャートで表示します。

レーダーチャートの表示には「分類なし」カテゴリを含め3つ以上のカテゴリが設定されている必要があります。



カテゴリ設定

● カテゴリ名、出題数の設定

Excel シート「カテゴリ設定」でカテゴリ名、出題数を入力します。

■ カテゴリ設定

「カテゴリ名」と「出題数」を設定します。
「出題数」を空欄にすると、該当カテゴリに設定されている問題全てが出題されます。

NO	カテゴリ名	出題数
—	分類なし	
1	用語	1
2	OS	2
3	ハードウェア	2
4		
5		

「カテゴリ名」の設定

「出題数」の設定

- ・ 最大 20 種類のカテゴリを設定できます。
- ・ 出題数 1～100 が設定できます。
- ・ 設定された問題数より大きい数値が設定された場合は、設定されたカテゴリの全問が表示されます。
- ・ 「出題数」欄が空欄のカテゴリは、設定されたカテゴリの全問が表示されます。

- 各問題のカテゴリー割り当て

問題設定「分類」設定セルで指定します。

このセルでは、カテゴリー設定で入力した一覧がプルダウンメニューで表示されます。

全体形式ごとの「カテゴリー」使用の可否

全体形式	1ページ複数問 一括判定	1ページ複数問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 一括判定	1ページ1問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 個別判定	1ページ1問 個別判定 判定すると進める	1ページ1問 個別判定 正解すると進める
レーダーチャート表示	○	×	○	×	○	○	×
カテゴリー出題数設定	×	×	○	○	×	×	×

制限時間の設定

smart QUTE 3 では、コース全体、または1問単位にて解答の制限時間を設定することができます。

- 制限時間設定

環境設定「制限時間」で、「全体」または「1問単位」を選択してください。

選択した場合は「秒数」に制限時間を入力してください。

- ・ 全体：コース全体の制限時間を**秒数**（1～86,400）で設定します
- ・ 1問単位：各問題の制限時間を**秒数**（1～3,600）で設定します

- 全体形式ごと「制限時間」使用の可否

全体形式		1ページ複数問 一括判定	1ページ複数問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 一括判定	1ページ1問 結果表示なし 一括判定	1ページ1問 個別判定	1ページ1問 判定すると進める 個別判定	1ページ1問 正解すると進める 個別判定
制限時間	全体	○	○	○	○	×	×	×
	個別	×	×	×	×	×	○	×

- 残り時間表示

制限時間の残り時間は、ヘッダー領域に表示されます。

残り時間 5 分以上 「分」単位で表示されます

残り：59 分 ≡ 機能

残り時間 5 分以下 「分秒」で表示されます

残り：4 分 56 秒 ≡ 機能

残り時間 59 秒以下 「秒」単位で表示されます

残り：45 秒 ≡ 機能

- 制限時間超過

時間切れになった場合は自動的に判定が行われます。

時間切れ後、判定後は残り時間表示は非表示になります。

学習管理システムでの使用

SCORM 対応

smart QUTE 3 は、SCORM 1.2 および SCORM 2004 に対応しています。

多くの SCORM 対応 LMS（学習管理システム）に登録して履歴のやり取りをすることが可能です。smart QUTE 3 で取り扱う履歴の詳細は、資料「[学習履歴の管理（SCORM 仕様）](#)」をご覧ください。

LMS 搭載時の支援機能

- レジューム機能

smart QUTE 3 は中断、全問判定実施等の状態にかかわらず、それまでの解答・判定状態を LMS に送信し記録します。

再度コンテンツを開いた場合は記録された内容が復元され、前回の続きから実施することができます。

- 受講回数制限

テストの実施回数を制限することができます。

起動・判定の回数を制御しない LMS に搭載する場合に有用です。

設定用 Excel シート「環境設定」「受講可能回数設定」で設定してください。

全問の判定が行われると受講回数を 1 消費します。

判定実施の可能回数は、開始ページ「システムガイダンス」に表示されます。

LMS 登録設定

ファイル	
☐ SCORM なし	SCORMコンテンツ登録用マニフェスト この設定では、モバイル端末で受
☒ SCORM 1.2	SCORM 1.2 登録用マニフェストを
☐ SCORM 2004	SCORM 2004 登録用マニフェスト

受講可能回数設定	回数
☒ 設定する	3
☒ 維持する	

受講可能回数設定

• 受講できる回数は、残り 3 回です。

→ 開始

開始ページ「システムガイダンス」

- 受講履歴の上書き設定

テストを複数回実行した場合、合格点、合否結果の上書きについて制御することができます。設定用 Excel シート「環境設定」「最高点・合否結果」を設定してください。

- ・「維持する」をチェックしない場合は、常に最新の結果を LMS に記録します。
- ・「維持する」をチェックした場合は、合格となったステータスをその後の受講結果に関係なく維持し、複数回実施した中で最高の得点を LMS に記録します。

- 推奨コンテンツサイズ

smart QUTE 3 コンテンツの推奨画面サイズは、幅 1,024px 高さ 700px です。

smart FORCE のように、コンテンツウィンドウのサイズを設定できる LMS に登録し、受講環境が十分な解像度である場合はこの数値を基準にして表示サイズを設定してください。

なお iOS 端末、一般的な Android 端末での受講では、表示サイズを smart QUTE 3 が自動で設定するためこれを意識する必要はありません。

資料

smart QUTE 3 仕様

名称	smart QUTE 3 （スマート キュート 3 ）
分類	テスト型コンテンツ制作ツール
主な仕様	・ 設定可能出題数 1～100 問 ・ 設定可能自由表示セクション 0～100 ・ ページ内問題表示形式 1 ページ複数問、1 ページ 1 問 ・ 問題形式 択一、正誤、複数選択、入力、直接入力、ドラッグアンドドロップ、並び替え ・ 択一、複数選択の選択肢並び順 入力順、シャッフル ・ 出題順序・出題数 指定順、シャッフル ・ 出題数設定 カテゴリー単位 ・ 問題分類 カテゴリー関連付けによる分類 ・ 時間制限 コース全体、1 問単位 ・ 使用可能な問題用補助ファイル 画像、動画、音声 ・ ページ移動条件 条件なし、問題の判定、問題の正解 ・ 判定結果 表示有、表示無 ・ 判定実施タイミング 全問一括、全問一括・問題ごと個別、問題ごと個別 ・ 判定結果表示 得点、コメントテキスト、レーダーチャート ・ 情報表示 ヒント画像、解説情報 ・ システム言語 日本語、英語
対応する SCORM	・ バージョン SCORM 1.2、SCORM 2004 ・ 履歴 学習時間、学習進捗（学習中／学習済）、得点、問題別の解答詳細、途中解答等記録／復元、判定結果（合格／不合格）
対応する外部ファイル形式	・ 画像・アニメーションファイル JPEG（.jpg、.jpeg） PNG（.png）

	GIF (.gif) ・ 動画ファイル H.264 (.mp4) ・ 音声ファイル MP3 オーディオ (.mp3)
動作検証済み LMS	SATT smart FORCE 学び〜と
制作・販売	エスエイティーティー株式会社

学習履歴の管理（SCORM 仕様）

	SCORM1.2	SCORM2004
起動	「LMSInitialize」を実行 「cmi.core.lesson_status」が 「not attempted」のときに、 「incomplete」をセット	「Initialize」を実行 「completion_status」が 「unknown」のときに、 「incomplete」をセット
ページ移動	現在のページ数を 「cmi.core.lesson_location」にセット	現在のページ数を「cmi.location」にセット
問題解答・ 個別判定	解答・判定情報等状況を 「cmi.suspend_data」にセット	解答・判定情報等状況を 「cmi.suspend_data」にセット
判定	インタラクションログをセット	インタラクションログをセット
全問題判定 完了	「cmi.core.score.max」に最高点、 「cmi.core.score.raw」に得点をセット	「cmi.score.max」に最高点、 「cmi.score.raw」に得点、 「cmi.score.scaled」にスケール化した得点 （最大1の正答率）をセット
	合格点以上の場合、 「cmi.core.lesson_status」に「passed」 をセット	合格点以上の場合、 「cmi.completion_status」に 「completed」、 「cmi.success_status」に 「passed」をセット
	合格点未満の場合は、 「cmi.core.lesson_status」に「failed」 をセット	合格点未満の場合は、 「cmi.completion_status」に 「completed」、 「cmi.success_status」に「failed」をセッ ト
終了	「cmi.core.session_time」に学習時間 をセット 「LMSFinish」を実行	「cmi.session_time」に学習時間をセット 「cmi.exit」に「suspend」をセット 「Terminate」を実行

LMS への途中記録は次の動作実施時に行われます。

	PC 受講時	モバイル受講時
途中記録	開始ボタンの押下、問題に解答、 判定実施、教材の再受講実施	再受講実施

smart QUTE バージョン別機能等比較

コンテンツ機能

機能			version 1.x	version 2.1.x	version 3.x
ソース形態	PC 受講		SWF	SWF	HTML5
	モバイル受講		×	HTML5	
問題形式	択一	設定	○	○	○
		選択肢シャッフル	×	○	○
	正誤		×	×	○
	複数選択	設定	○	○	○
		選択肢シャッフル	×	○	○
	入力		○	○	○
	直接入力		×	×	○
	ドラッグアンドドロップ		×	×	○
	並び替え		×	×	○
問題以外要素設定	全体解説ページ		○	○	×
	画像		×	×	○
	テキスト		×	×	○
	HTML テキスト		×	×	○
テスト設定	出題数任意設定		×	○	○
	制限時間（コース全体）		×	○	○
	制限時間（問題単位）		×	○	○
テンプレート機能	レスポンス表示		×	×	○
	ページの任意並び替え		×	×	○
	システムガイダンス		×	△	○
	スワイプページ移動		×	×	○
	キーボードページ移動		×	×	○
	ページ移動アニメーション		×	△	○
	文字サイズ設定		×	×	○
	画像先読み		×	△	○
	実施中の再受講		×	×	○
	背景音声		○	○	×
					(v3.1.16 廃止)
	HTML 文字修飾		△	△	○
	設定ファイル暗号化		×	×	○
補助ファイル	画像表示		○	○	○
	画像表示サイズ設定		×	×	○
	ヒント画像表示		○	○	○
	動画再生		○	○	○

	音声再生		○	○	○
解説	テキスト表示		○	○	○
	画像表示		○	○	○
	音声再生		×	○	×
システム言語	英語対応		×	×	○(3.1.15以降)
LMS 搭載	対応する SCORM	SCORM 1.2	○	○	○
		SCORM 2004	○	○	○
	受講可能回数設定		×	○	○
	得点・合否結果維持		×	○	○
	全問判定済み結果表示		×	×	○
	通信エラー検出		×	×	○

制作機能

機能		version 1.x	version 2.1.x	version 3.x
基本	設定用 Excel シート付属	○	○	○
設定用 Excel シートフォーマット	問題設定用 横型シート	×	○	○
	自由表示設定シート	×	×	○
	問題設定 項目表示制御	×	×	○
	セル内 HTML 設定	○	○	○
	ハイパーリンク自動設定	×	○	○
	セル内テキスト修飾	×	○	○
コンテンツ等出力	設定ファイル単独出力	○	○	×
	設定ダイアログ	×	○	○
	クイックプレビュー	×	○	○
	コンテンツフォルダー出力	×	○	○
	登録用 zip ファイル出力	×	○	○
	zip ASCII ファイル名選択	×	×	○
	設定用 Excel シート出力	×	○	○
外部ファイル	外部ファイルプレビュー	×	○	○
	ダイアログファイル設定	×	○	○
	画像自動組入	×	×	○
その他の設定	Excel シートカラー設定	×	○	×
	入力点数表示	×	○	○
	出題順序任意設定	×	×	○
下位互換	下位バージョン設定ファイル互換	—	○	×

smart QUTE 1.x、2.x で制作した設定ファイルは、smart QUTE 3 で読み込むことはできません。

Excel のマクロセキュリティレベルの設定

設定用 Excel シート「QUTE 設定(3.1).xlsm」は、各種の機能で VBA を使用しています。これを有効にするため以下の説明に従ってセキュリティレベルを設定してください。

◆Excel 2013 / 2016 / 2019

- ① マクロのセキュリティレベルを設定します。リボン「ファイル」タブ、「オプション」「セキュリティセンター」「セキュリティセンターの設定 (T)」を選択してください。「セキュリティセンター」ダイアログが表示されます。
- ② 「マクロの設定」で、「警告を表示してすべてのマクロを無効にする (D)」を選択して [OK] ボタンを押してください。
- ③ 設定用 Excel シート「QUTE 設定(3.1).xlsm」を表示すると「セキュリティの警告」メッセージが上部に表示されます。[コンテンツの有効化] ボタンを押してください。

Excel の Active X の設定

設定用 Excel シート「QUTE 設定(3.1).xlsm」は、「並び替えリスト」「ファイルプレビュー」で Active X を使用しています。

この機能を有効にするため以下の説明に従って設定してください。

◆Excel 2013 / 2016 / 2019

- ① マクロのセキュリティレベルを設定します。リボン「ファイル」タブ、「オプション」「セキュリティセンター」「セキュリティセンターの設定 (T)」を選択してください。「セキュリティセンター」ダイアログが表示されます。
- ② 「Active X の設定」で、「先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする (P)」を選択して [OK] ボタンを押してください。

連絡先

エスエイティーティー株式会社

商品販売担当

e-mail: info@satt.jp

Tel: 03-5259-3390

参考URL

- エスエイティーティー株式会社

<https://satt.jp/>

- 商品情報ページ

<https://satt.jp/products/index.htm>

改訂履歴

2016.05.31	最初のリリース
2016.06.22	「その他 LMS の搭載要件」を追記、誤記の修正
2016.07.19	誤記の修正等
2016.10.25	バージョン「3.1」と「3.0」の相違説明ページを追加
2016.10.25	並べ替えリスト、ファイルプレビュー機能変更による修正
2016.10.25	受講環境 iPhone、iPad iOS 10 を追加
2017.03.28	バージョン 3.1.2 に対応する修正
2017.05.23	バージョン 3.1.3 に対応する修正
2017.10.31	バージョン 3.1.4 に対応する修正
2018.03.30	誤記の修正等
2018.06.05	バージョン 3.1.9 に対応する修正 受講環境 Android 8 を追加
2018.11.13	誤記の修正等 受講環境 iOS 12 を追加
2019.06.19	動作環境追加による修正等
2019.10.15	一部の説明用画像を更新 受講環境 iOS 13 を追加 受講環境 Android 10 を追加
2019.12.12	システム言語設定の説明を追加 受講環境 iPadOS を追加 エラー表示「101」を廃止
2020.02.03	動作環境より Windows 7 を削除
2020.12.01	制作環境より Excel 2010 を削除 背景音声機能、仕様廃止
2021.06.08	受講環境を更新

v3.1.18